

NPO東腎協

結成50周年記念

会員実態調査 報告書

2022年7月調査



患者のQOL向上のために・・・
特定非営利活動法人 東京腎臓病協議会

はじめに

本調査は、特定非営利活動法人東京腎臓病協議会（以下、東腎協と略す）結成50周年記念事業の一環として行いました。これまで東腎協の会員（以下会員と略す）の実態を把握し、医療や福祉等に対するニーズを明らかにするために、結成2年目の1974年6月、結成10周年目の1981年10月、結成20周年目の1992年10月、結成30周年目の2004年5月、結成40周年目の2012年5月の過去5回にわたり会員実態調査を行ってきました。

20周年までの調査では、主に病気や療養実態などについて調査を行ってきました。30周年の調査では、20周年の調査内容を踏襲しつつ、2000年に介護保険法が制定されたことを踏まえ、会員の介護保険の利用状況についても調査を行いました。さらに、医療関係者の協力を得て会員の身体的・精神的状態や、医療機関に対する満足度調査も行いました。40周年では東腎協独自で集計作業を行い、結成20周年までに行われた調査項目をベースとし災害対策の状況、機関誌の評価、ホームページの評価を加えました。今回は40周年の調査項目を簡素化した上で、近年の高齢化にともない深刻な問題となっている人生の最終段階の医療として、事前指示書の作成の有無を加えました。

本実態調査が、今日の透析患者および腎臓病患者が抱える課題をあぶり出し、それらを解決するための礎となれば幸甚に存じます。

最後となりますが、この調査の実施にあたり、ご協力いただきました会員の皆様、ならびに各病院腎友会の役員さんに対しまして厚く御礼申し上げます。

2023年3月

特定非営利活動法人
東京腎臓病協議会
会長 戸倉 振一

目 次

I. 調査の対象と方法	1
II. 調査結果の概要および他の調査との比較と課題	2
(1) 回答者の特徴	2
(2) 透析治療	5
(3) 通院	6
(4) 生活について	7
(5) 腎臓移植・腎臓再生	8
(6) 災害対策について	9
(7) 患者会への期待	9
(8) 調査結果から見た課題	10
III. 調査結果	12
III-1. 回答者の特徴	12
(1) 年齢	12
(2) 性別	12
(3) 現住地	13
(4) 腎臓病発見のきっかけ	13
(5) 現在受けている治療法	14
(6) 自覚症状	16
(7) 事前指示の作成	17
III-2. 現在の治療	18
(1) 透析治療の時間帯および透析治療の時間	18
(2) 平均的な血色素量 (Hb) およびアルブミン値 (Alb)	19
(3) 服薬および透析以外に受けている治療	19
(4) 食事管理	20
(5) 運動について	20
III-3. 通院	21
(1) 通院に要する時間	21
(2) 通院の手段	21
(3) 通院に要する費用	21
(4) 透析施設の送迎が有料になった場合	21
(5) 通院時の付き添い	21
III-4. 腎臓移植・腎臓再生	22
(1) 腎移植の希望	22
(2) 腎移植を希望しない理由	22
(3) 腎臓再生医療への期待	22
III-5. 職業生活	23
(1) 現在の就労状況	23

(2) 有職者の労働形態と就労日数	23
(3) 職場の理解	23
(4) 就労支援	23
(5) 就労上困ったときの相談者	24
(6) 仕事をしていない理由	24
III-6. 家庭の状況および経済状況	25
(1) 公的年金の受給状況	25
(2) 同居家族	25
(3) 家計の中心	25
(4) 患者本人の年収	25
III-7. 介護保険	27
(1) 介護保険の利用状況	27
(2) 介護保険の介護認定	27
(3) 介護保険の給付（サービス内容）の満足度	28
(4) 介護保険の給付（サービス内容）に不満の理由	28
III-8. 災害対策について	29
(1) 透析施設の災害対策	29
(2) 代替透析施設の把握	29
(3) 災害時における水分・カリウム・カロリーの摂取値	30
(4) 日常の災害の備え	30
(5) 災害時に備えていること	30
III-9. 患者会への期待	31
(1) 東腎協に期待していること	31
(2) 東腎協に開催してもらいたい趣味の会	31
(3) 機関誌「とうじんきょう」に期待する記事	32
(4) 国会請願の項目に期待すること	32
(5) 機関誌「ぜんじんきょう」に期待する記事	33
IV. 集計表	34
IV-1. 回答者の特徴	34
IV-2. あなたの通院状況について	40
IV-3. あなたの自己管理について	41
IV-4. あなたの透析治療について	42
IV-5. 腎移植に対して考えていること	43
IV-6. 仕事等について	44
IV-7. 生活について	47
IV-8. 介護保険	49
III-9. 災害対策について	50
IV-10. 東腎協について	51
IV-11. 全腎協について	51
V. 調査表	52

I. 調査対象と方法

(1) 調査の対象者

東腎協に加入している会員は、2022年3月末現在で1873人(68患者会、患者会会員数1648人、個人会員数225人)となっています。本調査はその全会員を対象としました。

(2) 調査方法

調査票は、東腎協に加盟している病院単位患者会の役員を通じ各会員に手渡され、同様に病院単位患者会を経て東腎協に回収しました。通院している医療機関に患者会組織がない会員（個人会員）へは東腎協から直接調査票を郵送で配布し回収しました。調査票は無記名とし、対象者本人の自記式で行いましたが、一部合併症や高齢で記入の困難な会員に対しては家族の協力を依頼しました。

(3) 調査期間

調査は2022年6月～7月に行いました。

(4) 調査の実施状況

全会員1873人へ調査票を配布し、1035票の調査票を回収しました（回収率55%）。回収した調査票は全て有効回答とし集計しました。

(5) 調査内容

調査内容は、東腎協が行ってきた過去5回の調査内容との連続性を考慮し、①会員の属性、②透析療法に関すること、③日常生活に関すること、④就労状況、⑤経済状況、⑥介護保険の利用状況、⑦災害対策に関すること、⑧東腎協・全腎協に期待すること、に、「事前指示書の作成の有無」を新たに加えました。

(6) 集計方法

回収した調査表から、東腎協の理事8名、事務局員1名で分担してEXCELにデータを入力し、入力分担と異なるデータのチェックを理事9名で行いました。

(7) 分析方法

単純集計や性別、年齢別、透析歴別等のクロス集計を行い、必要に応じて30周年及び40周年の実態調査や日本透析医学会の調査との比較を行い分析しました。

(8) 参考文献

- ・わが国の慢性透析療法の現況(2020年12月31日現在) (一社) 日本透析医学会 統計調査委員会 (以下、「2020年日本透析医学会調査」という。)
- ・2021年度血液透析患者実態調査報告書 (公社) 日本透析医会 血液透析患者実態調査検討ワーキンググループ (以下、「2021年日本透析医会WG調査」という。)

Ⅱ. 調査結果の概要および他の調査との比較と課題

(1) 回答者の特徴

1) 年齢

今回の調査の回答数（1035人）は前回（3090人）の約1/3でした。

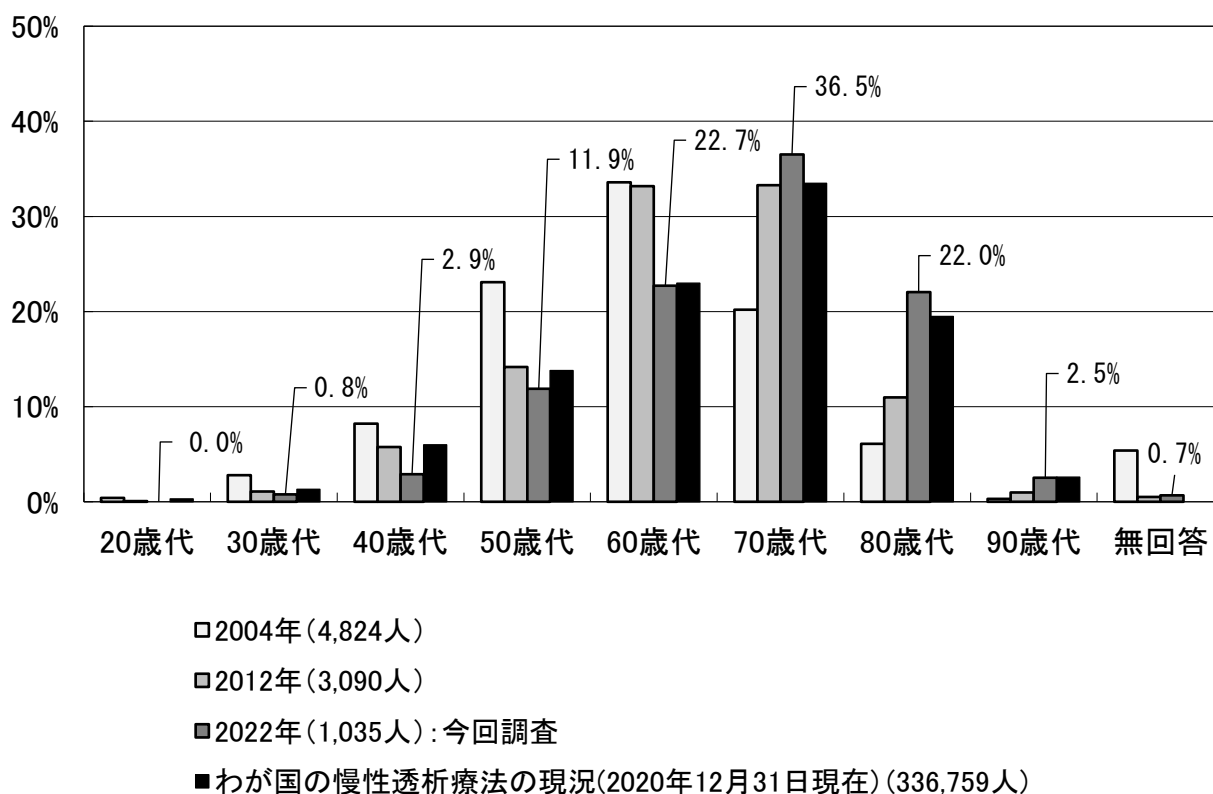
今回の調査の年代は60歳代～80歳代が81.2%を占めていました。

（Ⅲ. 調査結果 図1-1、Ⅳ. 集計表 問1-1参照）

今回と過去2回の調査の年齢階級分布を比較すると、60歳代以下の割合は減少し、70歳代以上は増加していましたが、60歳代の減少と80歳代の増加が顕著でした。

今回の調査と「2020年日本透析医学会調査」の年齢階級分布の比較では、60歳代、90歳代は同程度でしたが、50歳代以下は少なく、70歳代、80歳代は多くなっていました。（図Ⅱ-1参照）

図Ⅱ-1. 年代階級分布-過去の調査および2020年日本透析医学会調査との比較



2) 性別

今回の男女の割合は、男性が55.0%、女性が41.9%でした。

（Ⅲ. 調査結果 図1-2、Ⅳ. 集計表 問1-2参照）

前回のそれぞれの割合は52.1%、45.2%、前々回が51.1%、45.8%で、今回は男性の割合が増えていました。

3) 現住地

現住地の地域の割合は今回、区部が 61.8%、多摩部が 35.4%、東京都以外が 2.4% で、前回のそれぞれの割合は 58.7%、35.4%、3.7% で同程度でした。現住地と治療施設の所在地は 67.1% が同じ区市町村でした。

(Ⅲ. 調査結果 図1-3～図1-4、Ⅳ. 集計表 問1-3～問1-4参照)

4) 腎代替療法の種類

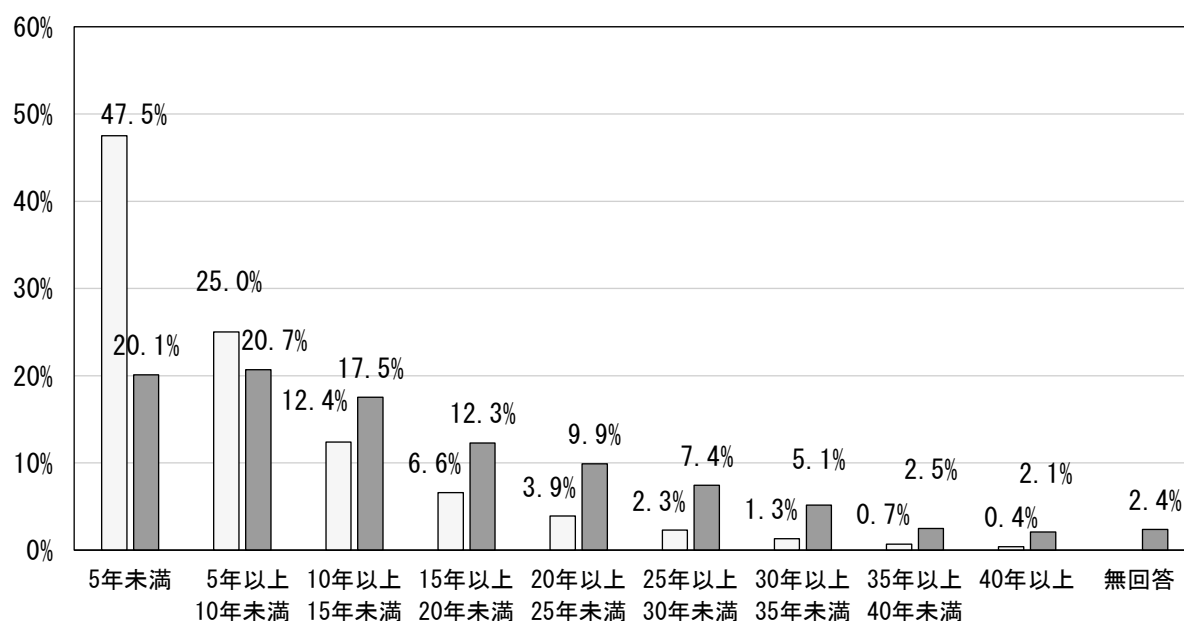
現在受けている治療法は、血液透析が 97.6% で、腹膜透析、腎臓移植、保存期慢性腎臓病がそれぞれ数名という状況でした。

(Ⅲ. 調査結果 表1-1、Ⅳ. 集計表 問1-5参照)

5) 透析歴

「2020年日本透析医学会調査」の透析歴階級分布と今回(Ⅲ. 調査結果 図1-8参照)の比較を図Ⅱ-2に示しました。今回の調査は10年以上で多く、10年未満で少なくなっており、5年未満では顕著に少なくなっていました。

図Ⅱ-2. 透析歴階級分布-2020年日本透析医学会調査との比較



□わが国の慢性透析療法の現況 (2020年12月31日現在) (336, 759人)

■今回調査 (2022年) (1, 010人)

各透析歴階級における年齢分布は、透析歴45年以上を除き70歳代が最も多くなっていました。(Ⅲ. 調査結果 図1-9、Ⅳ. 集計表 問1-6参照)

6) 治療の経過

「腎臓病発見のきっかけ」で「自覚症状があり病院で」は38.2%でした。

(Ⅲ. 調査結果 図1-5、Ⅳ集計表の問1-8参照)

「2021年日本透析医会WG調査」によると「自覚症状が出てからの診断」は1986年での53.8%がピークで、その後年々減少し、2011年では34.9%、2016年は27.0%で、その後は大きな変化はなく2021年は26.2%となっています。

透析に至った原疾患は「慢性糸球体腎炎」が31.0%、「糖尿病性腎症」が22.7%で「慢性糸球体腎炎」の方が多くなっていました。

(Ⅲ. 調査結果 図1-6、Ⅳ集計表の問1-9参照)

「2021年日本透析医会WG調査」では、それぞれ29.7%、36.6%、「2020年日本透析医学会調査」では、それぞれ26.7%、39.5%と「糖尿病性腎症」の方が多くなっています。

腎臓病の発見から1年未満での透析導入は、透析歴5年未満が28.2%で、透析歴5年以上でも同程度でした。「2021年日本透析医会WG調査」では1年以内に透析導入が22.2%となっています。

(Ⅲ. 調査結果 図1-7、Ⅳ集計表の問1-10参照)

以上のように「2021年日本透析医会WG調査」と異なるのは、今回の調査では透析歴が長い人が多いことが影響していると考えられます。

7) 症状の悩み

「疲れ、だるさ」が45.4%と最も多く、「かゆみ、むずむず感」「こむらえり、足がつる」が30%を超えていました。この傾向は過去2回の調査も同様でした。「症状の悩み」の保有数は多い順に2症状(21.5%)、3症状(18.0%)、4症状(14.9%)、1症状(13.4%)した。特に症状なしは6.8%でした。

(Ⅲ. 調査結果 図1-10、Ⅳ. 集計表 問1-11参照)

8) 事前指示書の作成について

「作成している」は全体で10.2%、一方、「そのようなことは考えたくない」は全体で5.3%となっており、男女別でも同程度でした。

(Ⅲ. 調査結果 図1-11、Ⅳ. 集計表 問1-12参照)

「2021年日本透析医会WG調査」によれば、「将来、判断能力を失うような状態になった場合について、透析治療の担当医師から、あなたのご希望やお考えを聞かれたことはありましたか」の設問に対して7.9%の方が「あった」と回答しており、そのような背景と関連性があることが考えられます。また同報告書の設問「将来、判断能力を失うような状態になった時、どのような治療を受けたいかについて、口頭や文書で残しておいた方がよいと思いますか」の設問に対して、「必要である」は43.7%あることから、患者の意思を尊重するため、書面に残すような取り組みが必要と考えられます。一方で「必要ない」は9.7%あり、そのことも考慮しておく必要があります。

(2) 透析治療

透析治療の時間帯は67.6%が「午前」でした。

(Ⅲ. 調査結果 図2-1、Ⅳ集計表の問4-1参照)

透析治療の時間は「4時間」が66.2%でした。

(Ⅲ. 調査結果 図2-2、Ⅳ集計表の問4-2参照)

透析を受けているときの過ごし方は「テレビを見ている」が71.0%でした。「運動をしている」は3.1%(Ⅲ. 調査結果 図2-3、Ⅳ集計表の問4-3参照)で、現状では透析施設での腎臓リハビリテーション(運動、食事、精神などを長期にわたり包括的にサポートし、生命予後やQOLの改善を図るプログラム)への取り組みは進んでいないことが考えられます。

血液検査の結果について、92.8%が透析施設から渡されていましたが、「平均的な血色素量(Hb)」、「平均的なアルブミン値(A1b)」について「無回答」「わからない」は合わせて、それぞれ30.4%、35.3%でした。

十分な体の活動力を維持するために必要なヘモグロビン値(血色素量)の目安は10g/dLとされていますが、今回の調査で「10/dl未満」は11.2%でした。

生命予後との関連で望ましいとされるアルブミン値の最低ラインは3.5g/dLとされていますが、今回の調査で「3.5g/dl以下」は25.9%でした。

(Ⅲ. 調査結果 図2-4～図2-5、Ⅳ. 集計表 問3-2～問3-3参照)

以上のことからQOL向上のためにはこれらの周知が必要であると考えられます。

服薬の種類は「7～9種類」が33.5%、「4～6種類」が29.3%、「10種類以上」が23.1%「1～3種類」が6.5%でした。

(Ⅲ. 調査結果 図2-6、Ⅳ. 集計表 問3-6参照)

透析以外に受けている治療(複数回答)は「眼科」が39.5%と最も多く、続いて「整形外科」が25.8%、「循環器科」が23.3%、「皮膚科」が16.1%となっていました。一方「受けていない」は24.8%でした。

(Ⅲ. 調査結果 図2-7、Ⅳ. 集計表 問3-7参照)

食事管理で主に気をつけていること(複数回答)は「リン制限」「カリウム制限」については65%程度、「塩分制限」「水分制限」については55%程度実施されていました。一方、「タンパク質の適切な摂取」は22.0%、「カロリーの適切な摂取」は14.0%と少なくなっており、栄養状態の改善のために啓発が必要と考えられます。

(Ⅲ. 調査結果 図2-8、Ⅳ. 集計表 問3-4参照)

運動については「なにもしていない」が38.4%でした。「散歩をしている」が33.4%、「ストレッチ」が18.8%、「筋力トレーニング」が8.3%、「ラジオ体操」が7.6%でした。

(Ⅲ. 調査結果 図2-9、Ⅳ. 集計表 問3-5参照)

コロナ禍で外に出づらい状況であること。更に「通院」の設問でも、送迎車の利用が増えていることから、自身で運動することが難しいと推察されます。その中でも

「散歩をしている」が33.4%であることは、運動の重要性の認識が広まった結果と考えられます。近年注目されている「腎臓リハビリテーション」の観点からもさらなる運動の重要性の啓発が必要と考えられます。

(3) 通院

透析施設までの通院手段について、今回と過去2回の比較を図Ⅱ-3に示しました。今回の調査で最も多かったのは「透析施設の送迎車」で36.7%を占めていました。過去2回との比較では「透析施設の送迎車」が増え、「公共交通機関」「自家用車」「タクシー」が減っていました。

「2021年日本透析医会WG調査」では「自分で運転する自家用車」が37.5%、続いて「透析施設の送迎バス（介護保険以外）を利用」が24.8%となっており、傾向は大きく異なっています。今回の調査で「透析施設の送迎車」の利用が増えているのは都市部特有の傾向と考えられます。

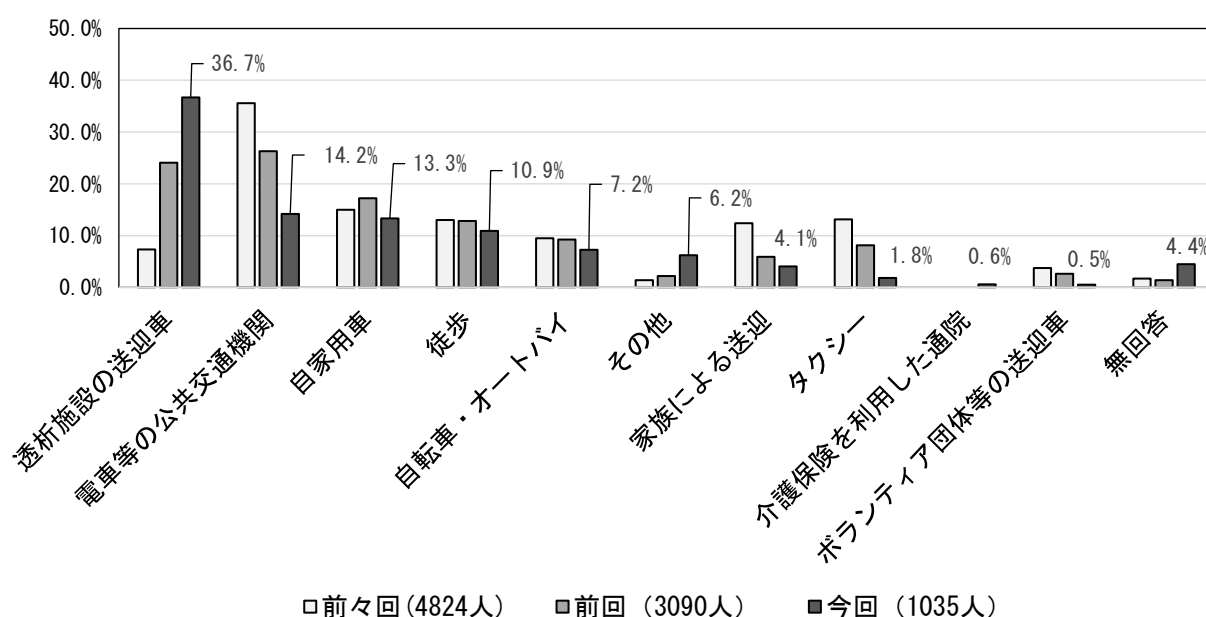
通院に要する時間は「30分未満」が78.1%で、一時間以上は1.6%でした。「2021年日本透析医会WG調査」ではそれぞれ83.7%、1.7%となっています。

通院に要する費用は「透析施設の送迎車」を利用する方では、「費用がかからない」が78.9%でした。「透析施設の送迎車を利用しない方」では、「費用がかからない」が29.3%、「1万円以上」が6.1%でした。

通院時に「一人で通院している」は86.4%で、高齢化に反して前回の調査75.7%より増えていました。これは「透析施設の送迎車」の利用が増えていることによると考えられます。

(Ⅲ. 調査結果 図3-1、Ⅳ. 集計表 問2-1～問2-6 参照)

図Ⅱ-3 透析施設までの主な通院手段



(4) 生活について

1) 職業生活

現在の就労状況は「就労をしている」が21.1%、「就労していない」が70.1%でした。「2021年日本透析医会WG調査」では「仕事をしていない」は66.2%となっています。

就労している方、218人の就労形態は「自営」が25.7%で一番多く、続いて「非正規社員」が22.9%、「正社員」が20.2%となっていました。一週間の就労日数は「5日」が47.2%で一番多くなっていました。

職場の理解については「理解している」が56.9%、「どちらかといえば理解している」が22.5%で合わせると有職者218人の79.4%を占めていました。

「障害を持つ前と同じ職場で就労」している方は61.0%でした。障害を持ったあとに仕事についての方で、就職するときに支援を受けたところは「ハローワーク」が9.6%、「障害者就労支援センター」が1.4%でした。

就労上困ったときの相談者としては「家族・友人」が47.7%と最も多く、続いて「職場の上司」が41.3%と多くなっていました。

仕事をしていない理由としては、60歳代以上の648人では「高齢のため」が46.1%と最も多く、50歳代以下の73人に対しては「体調がよくない」が31.5%と最も多くなっていました。

(Ⅲ. 調査結果 図 5-1～図 5-4、Ⅳ. 集計表 問 6-1～問 6-7 参照)

2) 家庭の状況および経済状況

公的年金の受給状況は「受けている」が83.0%、「受けていない」が7.8%でした。「2021年日本透析医会WG調査」ではそれぞれ83.6%、11.8%で同程度となっています。

同居家族については「配偶者」が56.1%、「子供」が22.9%、「一人暮らし」が19.4%でした。前は「配偶者」が60.4%、「一人暮らし」が15.4%となっており、前年に比べて今回は「配偶者」の割合が減り「一人暮らし」の割合が増えています。

「一人暮らし」の割合については「2021年日本透析医会WG調査」では20.3%で今回の調査と同程度となっており、全国的な傾向であると考えられます。

「一人暮らし」の201人の年齢は60歳代以下が38.8%、70歳代が38.8%、80歳代が18.4%、90歳代が4.0%でした。

家計の中心は「自身」が55.3%、「配偶者」が26.0%でした。

患者本人の年収は「100万円未満」が21.1%、「100万円以上200万円未満」が22.0%、「200万円以上300万円未満」が17.4%で、300万円未満の人が60.5%でした。なお、「収入なし」は6.6%、「生活保護受給」は2.5%でした。

「一人暮らし」では100万円以上200万円未満が最も多くなっていました。

(Ⅲ. 調査結果 図 6-1～図 6-3、Ⅳ. 集計表 問 7-1～問 7-3 参照)

3) 介護保険

介護保険の利用状況は「利用している」が265人で25.6%、「利用していない」が65.5%でした。

介護保険を「利用している」265人の要介護度は、最も多いのが「要支援2」で32.5%、続いて「要介護2」が17.7%でした。「2021年日本透析医会WG調査」では「要支援2」が25.2%で、続いて「要介護2」が19.1%となっています。

介護保険を「利用している」265人の介護保険の給付（サービス内容）については「満足」が27.9%、「まあまあ満足」が37.0%でした。一方、「なんともいえない」は34.7%、「やや不満」が5.3%、「不満」が4.2%でした。

介護保険の給付（サービス内容）に不満と回答した78人の理由は「手続きが大変」が34.6%と最も多い回答でした。

(Ⅲ. 調査結果 図 7-1～図 7-4、Ⅳ. 集計表 問 8-1～問 8-4 参照)

(5) 腎臓移植・腎臓再生

腎移植の希望については今回「希望する」が12.0%、「希望しない」が62.7%でした。「希望する」は前回、前々回共14.9%、「希望しない」は前回は59.1%、前々回が63.5%で過去2回の調査と同程度でした。「2021年日本透析医会WG調査」では「希望する」が15.6%、「希望しない」が52.5%となっています。

腎移植を希望しない理由は「年齢的体力的に無理」が53.0%、「現在の透析療法に満足している」が37.9%でした。「2021年日本透析医会WG調査」では、「年齢的体力的に無理」が55.9%、「透析療法がうまくいっている」が42.9%となっています。

腎臓再生医療への期待については「期待している」が66.9%となっており大きな期待が持たれていました。

(Ⅲ. 調査結果 図 4-1～図 4-2、Ⅳ. 集計表 問 5-1～問 5-3 参照)

(6) 災害対策について

かかりつけ透析施設での災害対策について「なにも行われていない」「わからない」「無回答」合わせて38.5%、災害時にかかりつけの透析施設で透析ができない場合の代替透析施設の把握については「把握していない」「わからない」「無回答」合わせて85.3%、災害時における水分・カリウム・カロリーの摂取値については「知らない」「無回答」合わせて64.9%、災害時の備えとして「何もしていない」「無回答」合わせて53.7%でした。

(Ⅲ. 調査結果 図 8-1～図 8-5、Ⅳ. 集計表 問 9-1～問 9-5 参照)

以上のことから、透析施設の災害対策や災害時代替透析施設把握、災害時の食事管理や災害時持ち出し品等の災害備蓄品の必要性についてのさらなる啓発が必要と考えられます。

(7) 患者会への期待

東腎協に期待していることは「医療助成制度・福祉制度の継続」が68.3%と突出していました。

東腎協に開催してもらいたい趣味の会については「特にない」は61.4%、「無回答」は16.8%でした。実施してもらいたいものとしては「旅行」が12.3%で最も多くなっていました。

「特にない」(61.4%)はコロナ禍で集うことが難しいことも一因と考えられます。少数であっても「歩こう会」(9.8%)は、コロナ禍前に実施していたことが評価されていると考えられます。

「料理」(6.4%)はわずかながらも腎臓病食への興味を感じられます。これは機関誌「とうじんきょう」を通じて情報を提供することも一つの手法として考えられます。

機関誌「とうじんきょう」に期待する記事は「特集(医療・福祉・災害など)」が59.8%と突出していました。

(Ⅲ. 調査結果 図 9-1～図 9-3、Ⅳ. 集計表 問 10-1～問 10-3 参照)

国会請願の項目に期待することとしては「災害対策」が41.1%と最も多く、続いて「再生医療」「介護」「CKD対策」「通院」「臓器移植」でした。

機関誌「ぜんじんきょう」に期待する記事は「医療に関する情報」が68.5%と突出して多く、「災害対策に関する情報」「福祉に関する情報」と続きました。

(Ⅲ. 調査結果 図 9-4～図 9-5、Ⅳ. 集計表 問 11-1～問 11-2 参照)

(8) 調査結果から見た課題

1) 医療費助成制度の堅持継続

- ・医療費助成制度・福祉制度を守るための活動の東腎協・全腎協への期待は非常に高く、継続してしっかりと取り組んでいく必要があります。

2) 再生医療・臓器移植

- ・腎臓の再生医療についての期待も非常に大きい。異種再生医療で人への臨床応用に向けた研究が進められており、実現に向けての要望活動の推進が必要です。
- ・腎臓移植を希望する人は高齢化の影響もあり 1 割強ですが、希望する人が移植を早期に受けられるように、臓器移植の普及推進をしていく必要があります。

3) 腎臓病の予防啓発

- ・「腎臓病の発見から1年未満での透析導入」の比率は透析歴で変化はなく、腎臓病が悪化してから受診している状況は改善されていないことが考えられるので、引き続き腎臓病の早期発見・早期治療の啓発が必要です。

4) 生活の質の向上

- ・透析治療に伴う症状の悩みは「疲れ、だるさ」が約半数と多く、過去 2 回の調査でも同様でした。QOL（生活の質）の向上ため、引き続き、栄養状態の改善、運動の推奨、「腎臓リハビリテーション」普及を進める必要があります。
- ・ライフスタイルや身体の状態に応じて、透析不足にならないような長時間透析や在宅透析を含め最適な腎代替療法が受けられるような医療体制になるようにしていく必要があります。

5) 透析施設への通院

- ・透析施設への通院は近年の都市部の特徴として「透析施設の送迎車」の利用が 4 割弱と多く、介護認定を受けている方では 7 割弱が利用しています。透析医療の診療報酬が改定のたびに見直されていることの影響が懸念されますので、今後の動向を注視していく必要があります。
- ・「透析施設の送迎車」を利用していない方では、通院に「1万円以上」の方もおり、その実態の把握が必要です。

6) 高齢化に対する対応

- ・一人暮らしの割合が増えていく傾向にあり、その半数以上が 70 歳代以上です。また、配偶者と二人暮らしでも老老介護の状態にある方も多いと推測されるため、介護が必要になった場合の通院支援や高齢者施設への入所等の公的支援の充実が急務です。
- ・人生の最終段階においても、よりよく生きるために人生会議（ACP）の啓発や終末期医療について患者の立場から情報を発信をしていく必要があります。

7) 災害対策の充実

- ・かかりつけの透析施設の災害対策を半数以上の方が把握していない現状があるため、災害時に透析医療を確保するための啓発を強化する必要があります。

8) 患者会運営

- ・新規透析導入患者の入会が顕著に少ないことが明らかとなっており、新規透析導入患者への患者会アピール、特に若年層の入会に繋がる SNS の利用を含めた取り組みが必要です。
- ・会員のニーズに沿った、きめ細やかなイベントを企画運営が必要とされています。
- ・透析患者の高齢化に伴い会員の高齢化も進展しており、高齢化に対応した活動が求められています。
- ・会員減少傾向が続いていることから、財務状況を踏まえた活動の抜本的な見直しが必要です。
- ・ウィズコロナが進むなかでも高齢者の多い透析施設での感染対策はこれまでと同様に続けていく必要があると考えられますので、患者同士のコミュニケーションの方法について研究していく必要があります。

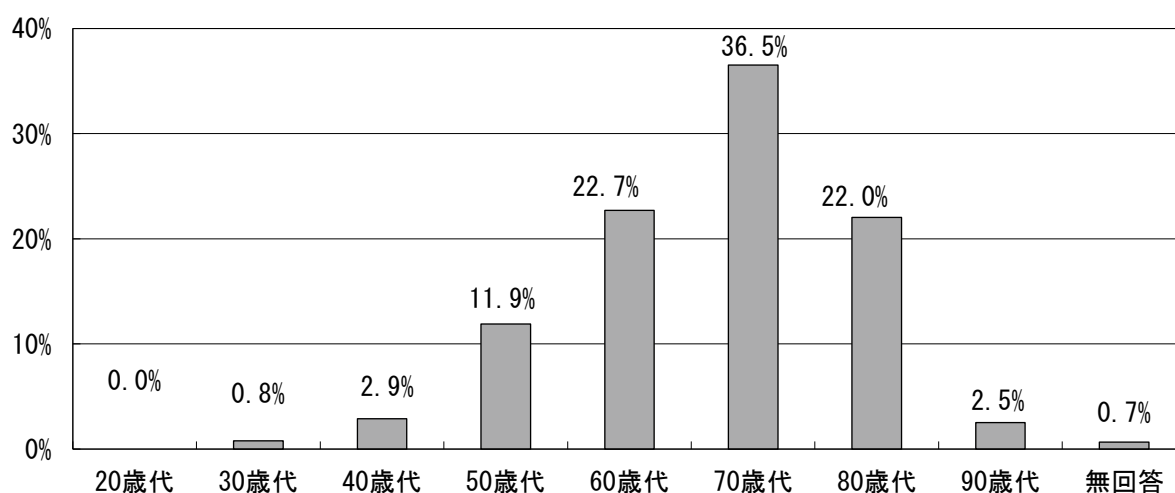
Ⅲ. 調査結果

Ⅲ-1. 回答者の特徴

(1) 年齢

年代階級分布を図1-1（Ⅳ集計表 問1-1参照）に示しました。最も多かったのは「70歳代」（36.5%）、次いで「60歳代」（22.7%）、「80歳代」（22.0%）で、60歳代～80歳代が81.2%を占めていました。

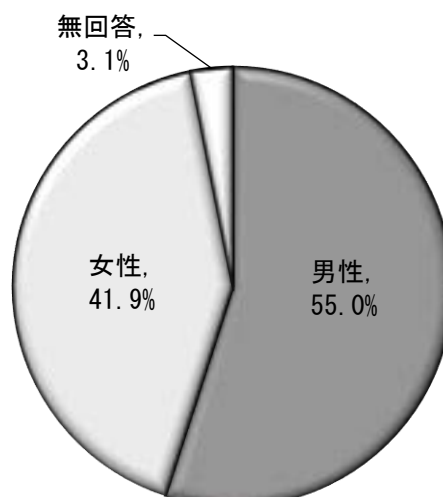
図1-1 年代階級の分布＜回答総数1035の構成比＞



(2) 性別

男女の構成比を図1-2（Ⅳ集計表 問1-2参照）に示しました。「男性」は55.0%、「女性」は41.9%、「無回答」は3.1%でした。

図1-2 性別分布＜回答総数1035の構成比＞



(3) 現住地

「区部」は61.8%、「多摩部」は35.4%、「東京都外」は2.4%でした。

(図1-3、Ⅳ集計表 問1-3参照)

現住地と治療施設の所在地は67.1%が同じ区市町村でした。

(図1-4、Ⅳ集計表 問1-4参照)

図1-3 現住地
＜回答総数1035の構成比＞

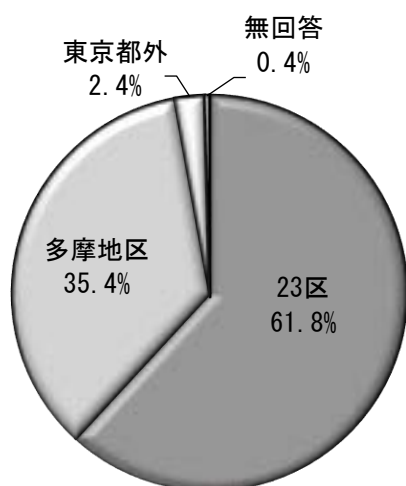
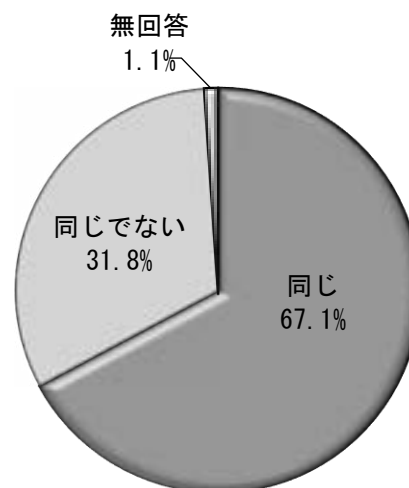


図1-4 通院している透析施設と住まいの
区市町村＜回答総数1035の構成比＞



(4) 腎臓病発見のきっかけ

「自覚症状があり病院で」(38.2%)が最も多く、続いて「別の病気の治療中に」が28.7%、「健康診断の結果より病院で」が26.7%でした。

(図1-5、Ⅳ集計表 問1-8参照)

透析に至った原疾患は「慢性糸球体腎炎」(31.0%)が最も多く、次に多いのが「糖尿病性腎症」(22.7%)でした。(図1-6、Ⅳ集計表 問1-9参照)

図1-5 腎臓病発見のきっかけ
＜回答総数1035の構成比＞

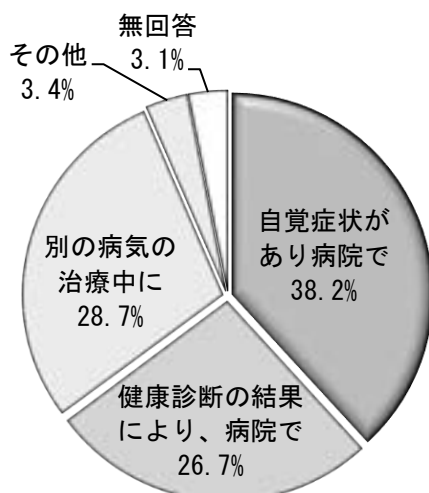
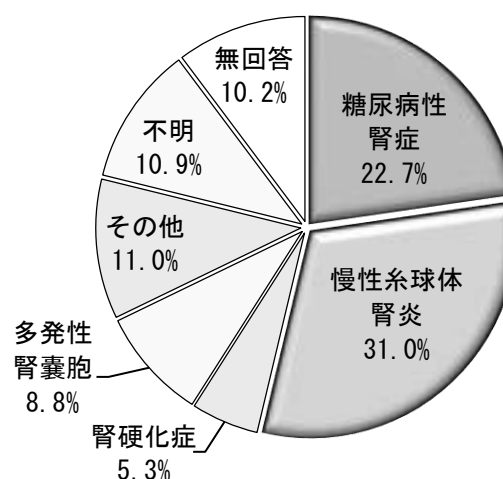
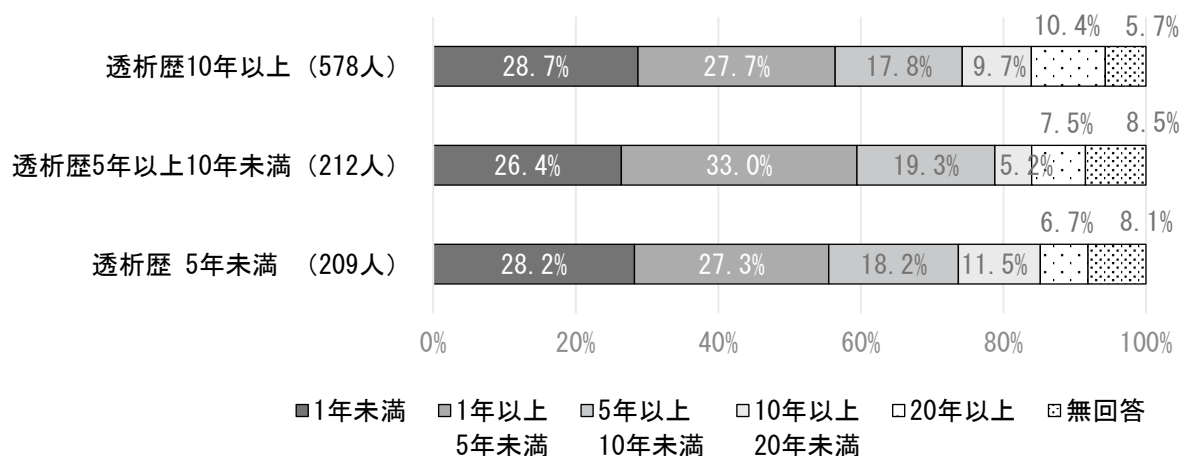


図1-6 透析に至った原疾患
＜回答総数1035の構成比＞



腎臓病の発見から1年未満での透析導入は、透析歴5年未満が28.2%で、透析歴5年以上でも同程度でした。(図1-7、Ⅳ集計表 問1-10参照)

図1-7 慢性腎臓病と診断されてから透析導入まで年数
 <透析歴10年以上578人、5年以上10年未満212人、5年未満209人の構成比>



(5) 現在受けている治療法

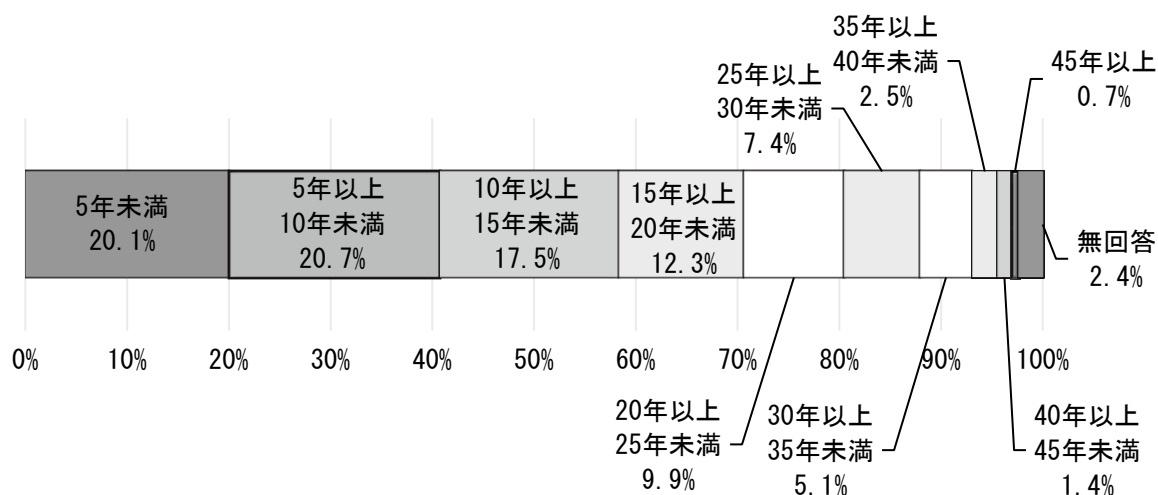
「血液透析」が97.6%でした。(表1-1、Ⅳ集計表 問1-5参照)

表1-1 現在受けている治療法

治療の種類	血液透析	腹膜透析	血液透析 腹膜透析 併用	腎臓移植	慢性 腎臓病	無回答	合計
回答数	1010 人	3 人	2 人	5 人	4 人	11 人	1035 人
構成比	97.6%	0.3%	0.2%	0.5%	0.4%	1.1%	100.0%

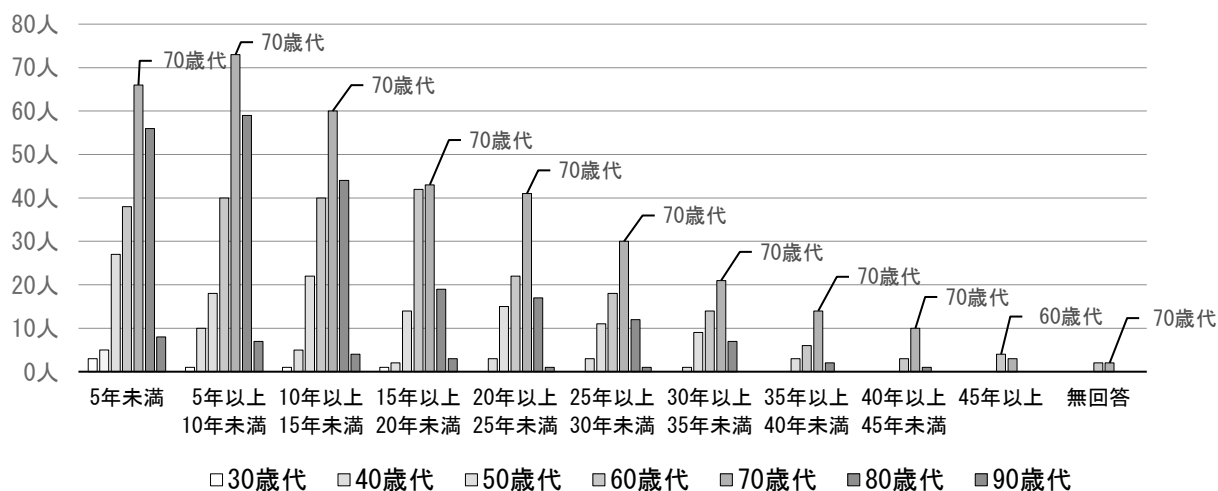
現在血液透析を受けている方の5年ごとの透析歴を図1-8 (Ⅳ集計表 問1-6参照)に示しました。

図1-8 現在血液透析を受けている1010人の透析歴階級の構成比



現在血液透析を受けている方の5年ごとの透析歴に対する年代別人数を図1-9（Ⅳ集計表 問1-6参照）に示します。透析歴45年以上を除き各治療歴において70歳代が最も多くなっていました。

図1-9 血液透析を受けている1010人の透析歴別年齢の人数



現在血液透析を受けている方で過去に腹膜透析、腎臓移植を受けていた方の5年ごとの治療歴を表1-2（Ⅳ集計表 問1-6参照）に示しました。

表1-2 現在血液透析を受けている方の過去に受けていた治療

治療を受けた年数	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上	合計
腹膜透析治療	30人	27人	6人	63人
腎臓移植	3人	6人	10人	19人

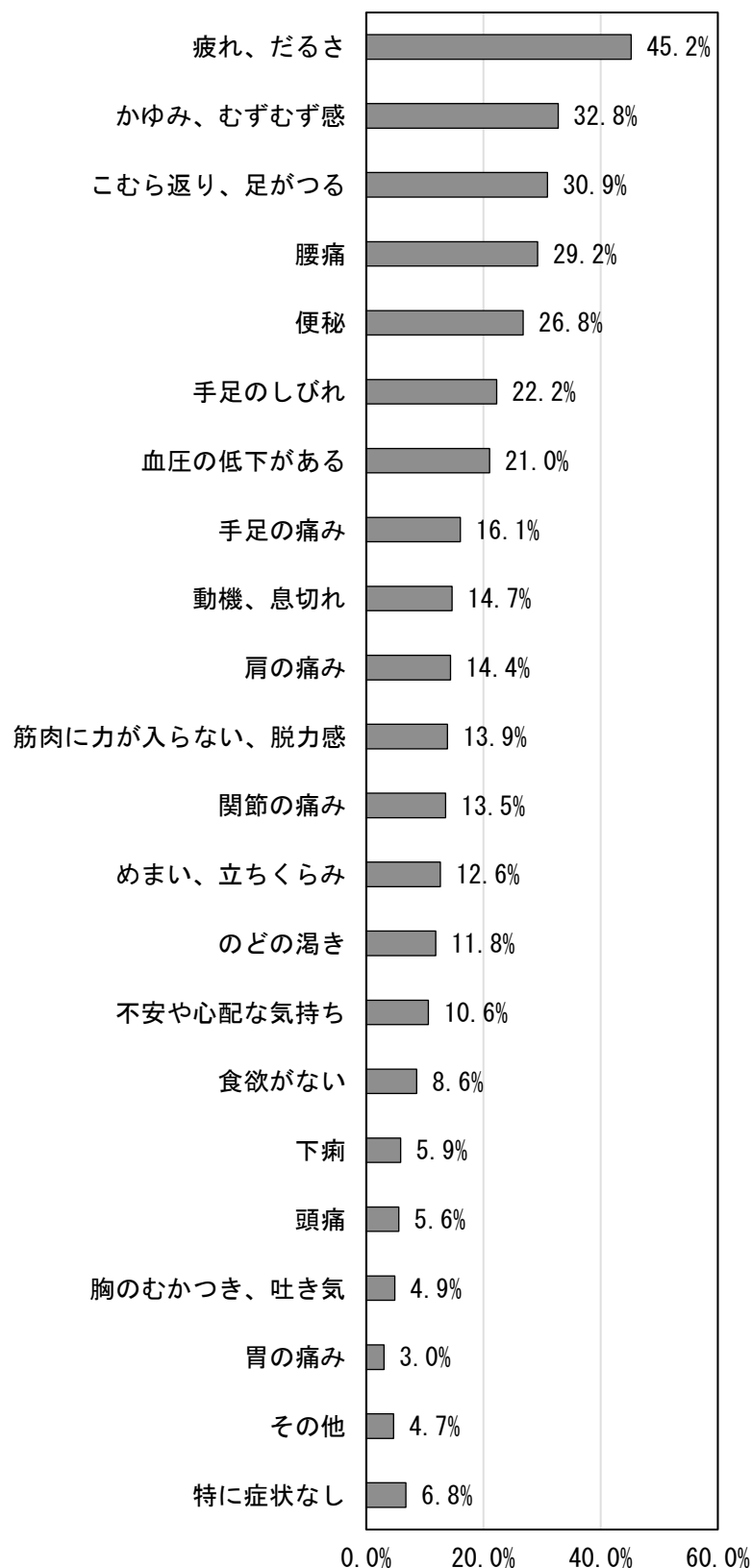
現在腹膜透析、腎臓移植を受けている方の治療歴は表1-3（Ⅳ集計表 問1-6参照）に示しました。

表1-3 現在腹膜透析、腎臓移植を受けている方の治療歴

治療年数	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上	合計
腹膜透析	2人	1人	0人	3人
血液透析併用	2人	0人	0人	2人
腎臓移植	1人	0人	4人	5人

（６）自覚症状

図 1-10 自覚症状の内容（複数回答）
＜回答のあった 989 人に対する比率＞



自覚症状の内容を図1-10
（Ⅳ集計表 問1-11参照）
に示しました。

最も多い症状は「疲れ、だるさ」で45.2%でした。

二番多い症状は「かゆみ、むずむず感」で32.8%でした。

三番多い症状は「こむら返り、足がつる」で30.9%でした。

以下、「腰痛」「便秘」「手足のしびれ」「血圧の低下がある」が20%を超えていました。

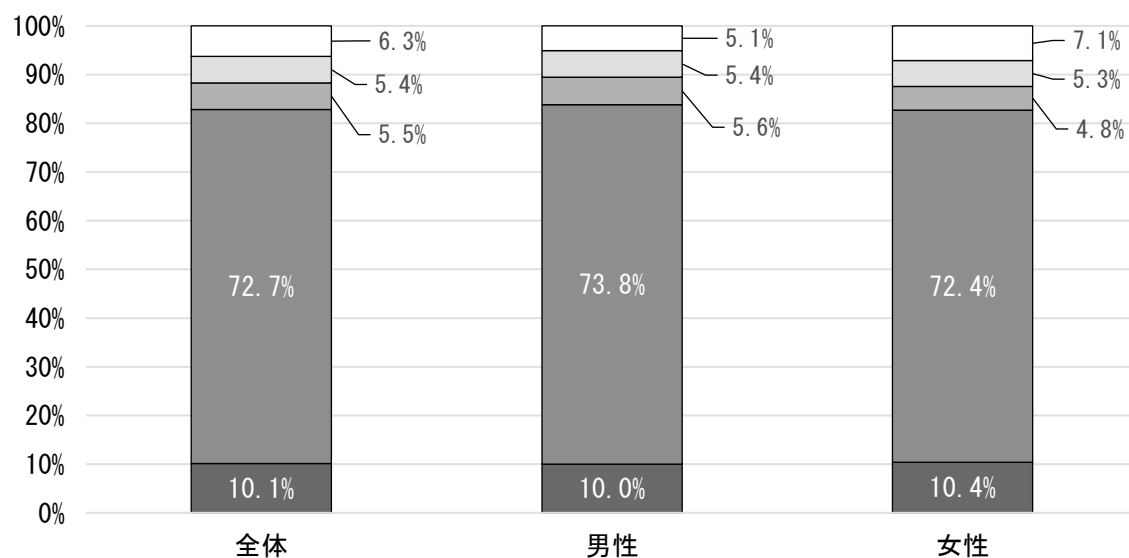
自覚症状の保有数は多い順に2症状(21.5%)、3症状(18.0%)、4症状(14.9%)、1症状(13.4%)した。特に症状なしは6.8%でした。

(7) 事前指示書の作成

事前指示書を作成している方は全体で10.1%、男女別でも同程度でした。

(図1-11、IV集計表 問1-12参照)

図1-11 事前指示書の作成状況（全体・男女別）
＜全体1035人、男性569人、女性434人の構成比＞

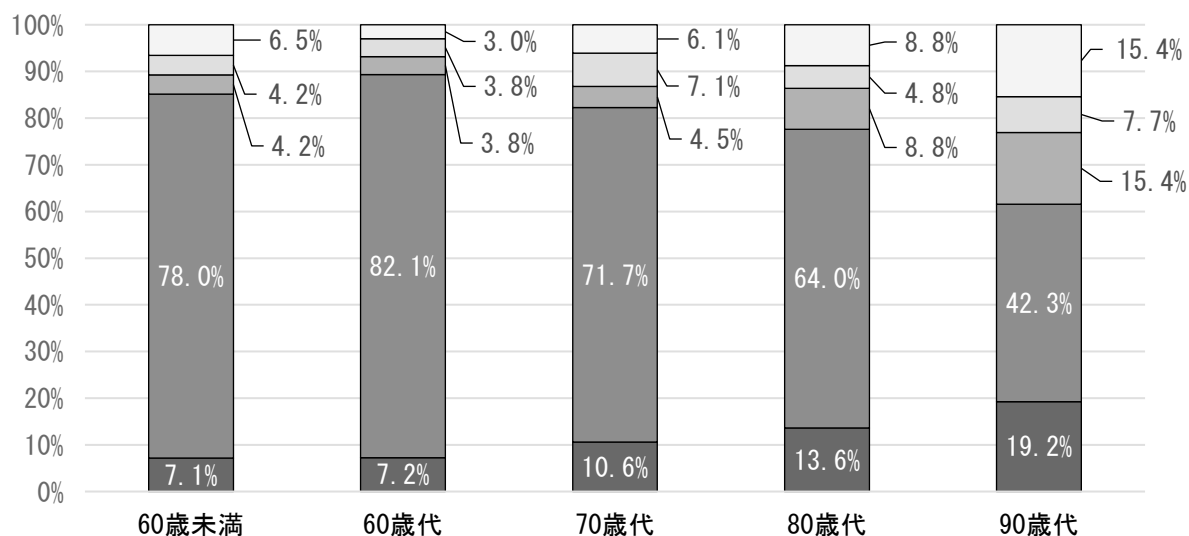


■作成している ■作成していない ■そのようなことは考えたくない □わからない □無回答

年代別では、年代が上がるほど事前指示書を作成している方が増えていました。

(図1-12、IV集計表 問1-12参照)

図1-12 事前指示書の作成状況（年代階級別）
＜60歳未満168人、60歳代235人、70歳代378人、80歳代228人、90歳代26人の構成比＞



■作成している ■作成していない ■そのようなことは考えたくない □わからない □無回答

Ⅲ-2. 現在の治療

(1) 透析治療の時間帯および透析治療の時間

透析時間帯は「午前」が67.6%でした。(図2-1、Ⅳ集計表 問4-1参照)

透析時間は「4時間」が66.2%でした。(図2-2、Ⅳ集計表 問4-2参照)

図2-1 透析時間帯
＜回答のあった981人の構成比＞

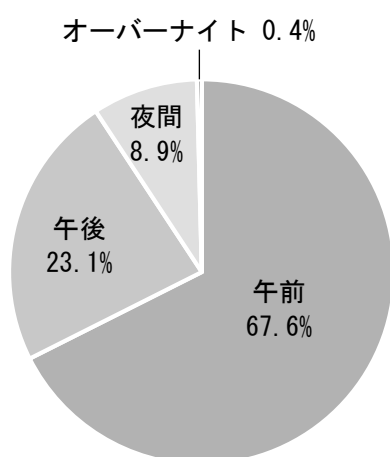
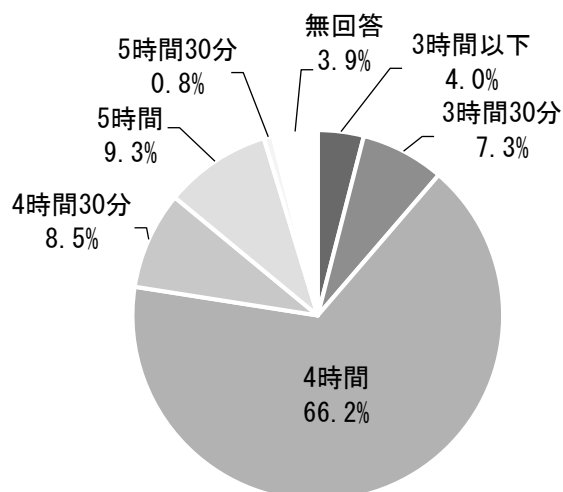
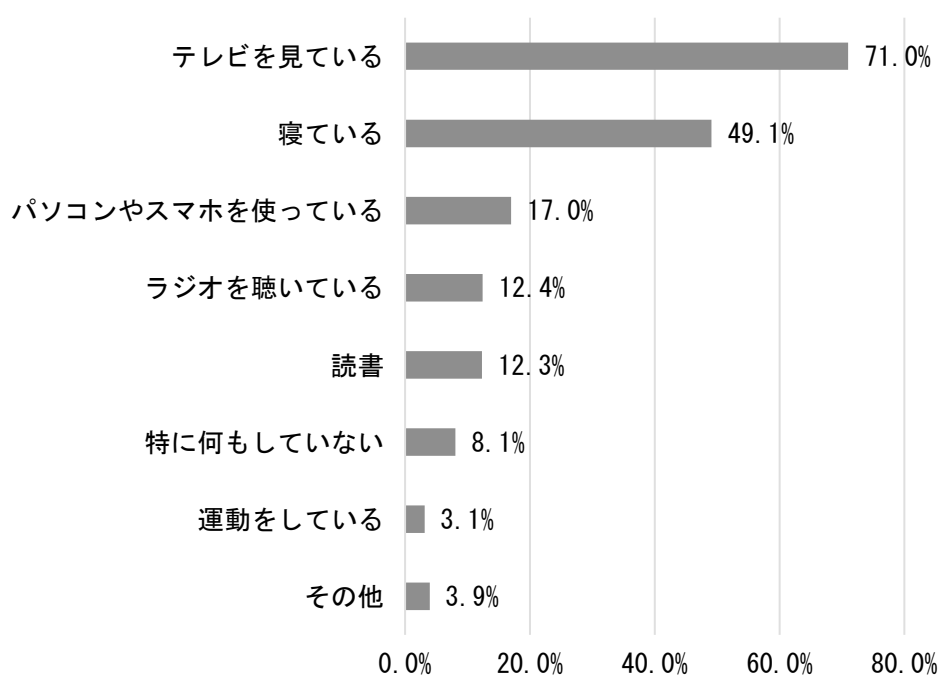


図2-2 透析時間
＜透析歴の回答のあった999人の構成比＞



透析を受けているときの過ごし方は「テレビを見ている」が71.0%でした。「運動をしている」は3.1%でした。(図2-3、Ⅳ集計表 問4-3参照)

図2-3 透析中の過ごし方(複数回答)＜回答のあった990人に対する比率＞



（２）平均的な血色素量（Hb）およびアルブミン値（Alb）

平均的な血色素量（Hb）の値を図2-4（Ⅳ集計表 問3-2参照）に、平均的なアルブミン値（Alb）を図2-5（Ⅳ集計表 問3-3参照）に示します。なお、血液検査の結果は92.8%の方が透析施設から渡されていました。（Ⅳ集計表 問3-1参照）

図2-4 平均的な血色素量（Hb）
＜回答総数1035の構成比＞

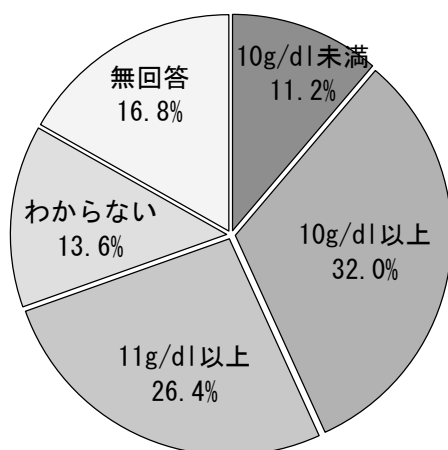
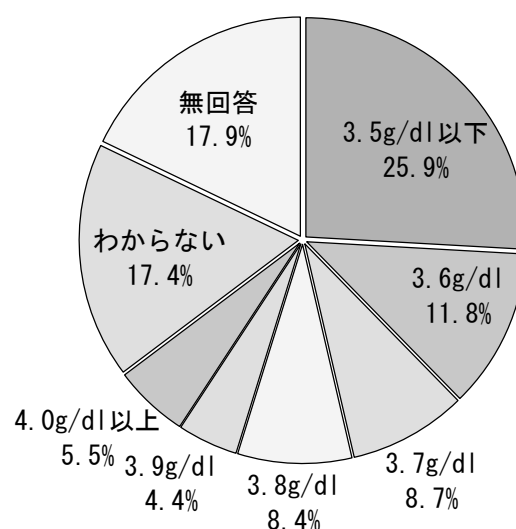


図2-5 平均的なアルブミン値（Alb）
＜回答総数1035の構成比＞



（３）服薬および透析以外に受けている治療

服薬の種類を図2-6（Ⅳ集計表 問3-6）に、透析以外に受けている治療を図2-7（Ⅳ集計表 問3-7参照）に示します。

図2-6 服薬の種類
＜回答総数1035の構成比＞

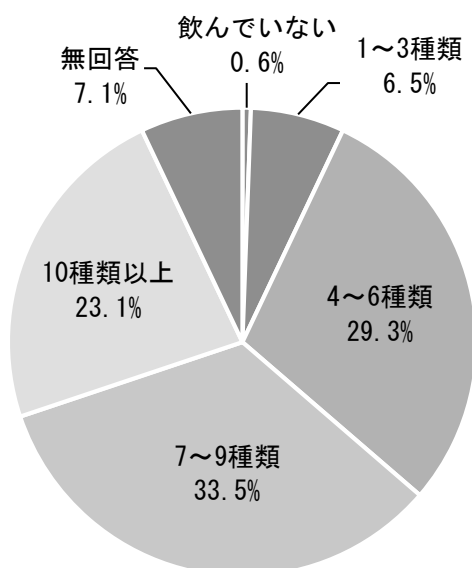
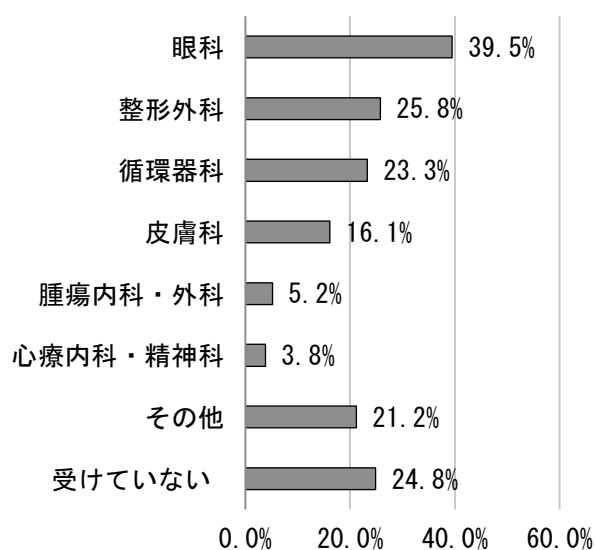


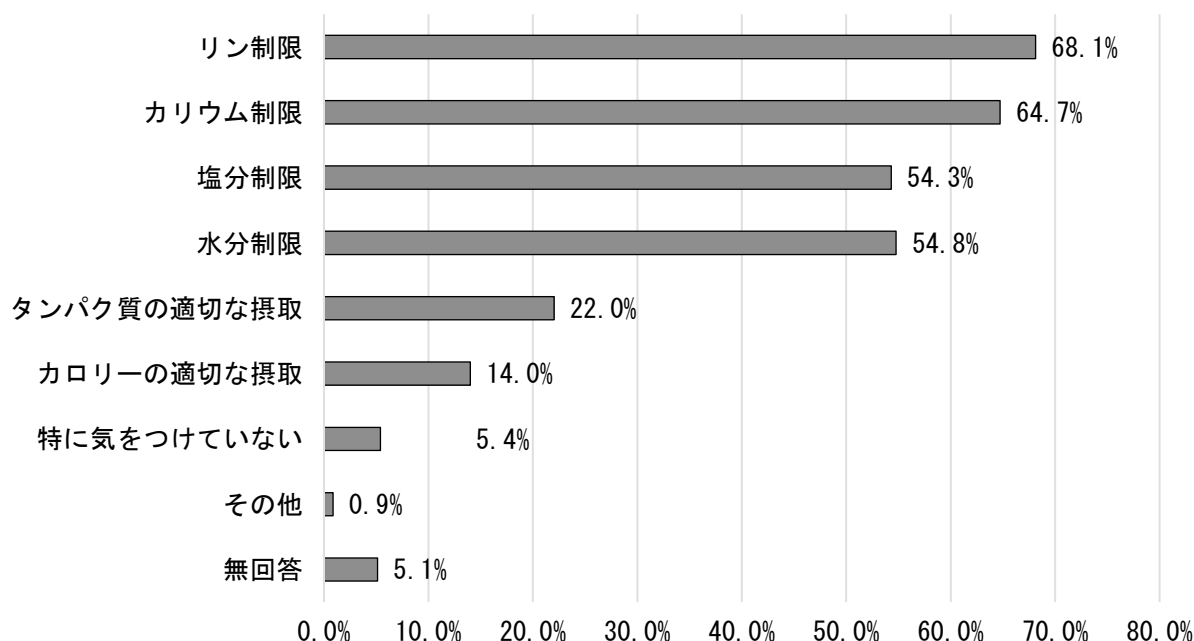
図2-7 透析以外に受けている治療（複数回答）
＜回答のあった962人に対する比率＞



(4) 食事管理

食事管理で主に気をつけていることは図2-8(IV集計表 問3-4参照)に示しました。「リン制限」は68.1%、「カリウム制限」は64.7%、「塩分制限」は54.3%、「水分制限」は54.8%でした。一方、「タンパク質の適切な摂取」は22.0%、「カロリーの適切な摂取」については14.0%と少い回答でした。

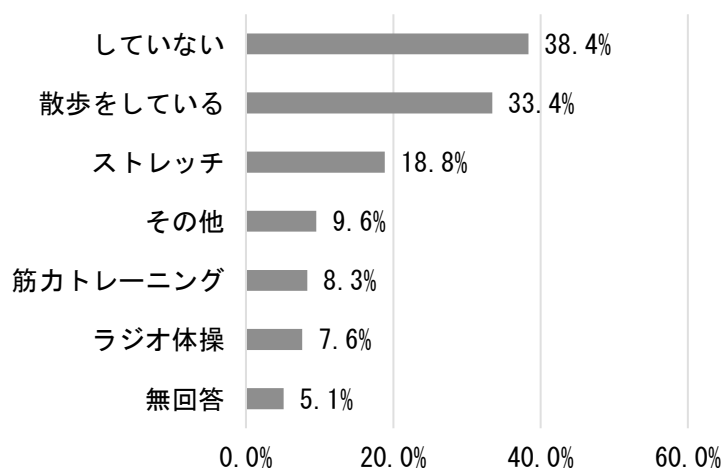
図2-8 食事管理で主に気をつけていること(複数回答)＜回答総数1035に対する比率＞



(5) 運動について

ふだん運動していることを図2-9(IV集計表 問3-5参照)に示します。「していない」が38.4%である一方「散歩をしている」が33.4%、「ストレッチ」が18.8%でした。

図2-9 ふだん運動をしていること(複数回答)＜回答総数1035の構成比＞



Ⅲ-3. 通院

(1) 通院に要する時間

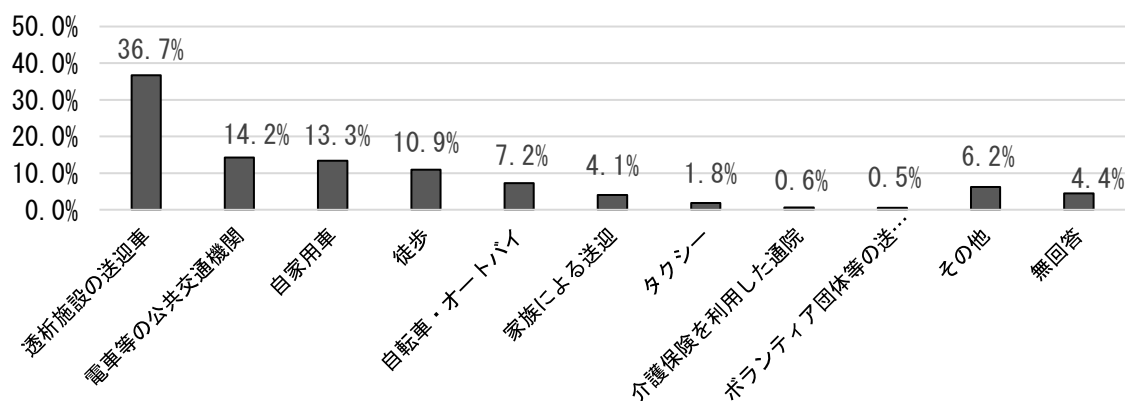
通院に要する時間は「30分未満」が78.1%、「30分以上1時間未満」が15.2%、「1時間以上2時間未満」が1.6%、「2時間以上」の回答はありませんでした。なお、無回答は5.1%でした。（Ⅳ集計表 問2-1参照）

(2) 通院の手段

透析施設までの通院手段で突出して多かったのは「透析施設の送迎車」（36.7%）で（図3-1参照）、介護保険を利用している265人に対しては67.5%でした。

（Ⅳ集計表 問2-2参照）

図3-1 透析施設までの主な通院手段＜回答総数1035の構成比＞



(3) 通院に要する費用

「透析施設の送迎車」（380人）の費用は、「かからない」が78.9%、「500円以内」が0.8%、「1000円以内」が1.5%、「1001円以上」が0.3%でした。

（Ⅳ集計表 問2-3参照）

「透析施設の送迎車」を利用していない655人の費用は、「かからない」が29.3%、「千円以内」が8.4%、「5千円以内」が22.7%、「1万円以内」が10.4%、「1万円以上」が6.1%でした。（Ⅳ集計表 問2-5参照）

(4) 透析施設の送迎が有料になった場合に、一ヶ月いくら位まで負担できるか

「1000円以内」が42.9%、「5000円以内」が28.9%でした。

(5) 通院時の付き添い

通院時に「一人で通院している」は86.4%でした。通院時に付き添いがある場合では、「配偶者」が6.2%、「子供」が1.6%、「その他の家族」が0.7%でした。

「介護保険のヘルパー」は1.7%、「障害福祉のヘルパー」は0.4%でした。（Ⅳ集計表 問2-6参照）

Ⅲ-4. 腎臓移植・腎臓再生

(1) 腎移植の希望

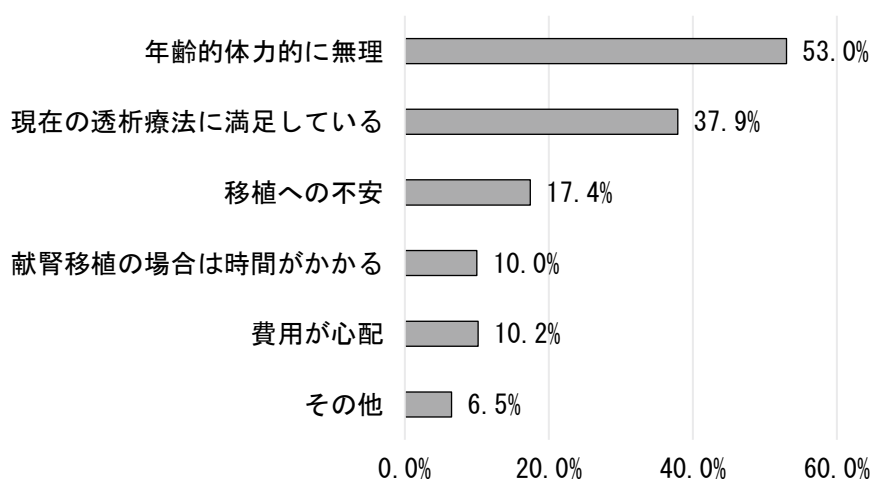
「希望する」が12.0%、「希望しない」が62.7%、「わからない」が16.6%、「無回答」が8.7%でした。(Ⅳ集計表 問5-1参照)

(2) 腎移植を希望しない理由

「希望しない」(649人)理由は「年齢的体力的に無理」が53.0%、「現在の透析療法に満足している」が37.9%と突出して多くなっていました。

(図4-1、Ⅳ集計表 問5-2参照)

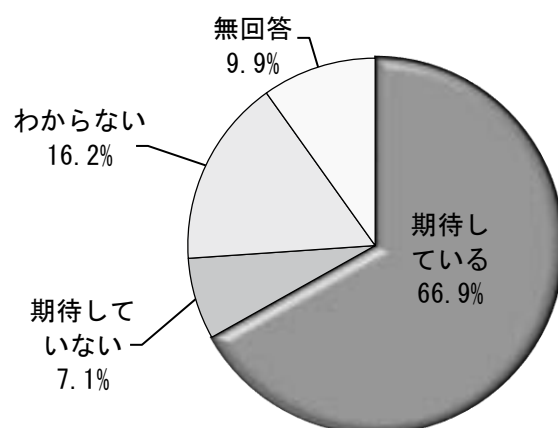
表4-1 腎移植の希望しない理由(複数回答) <希望しない649人に対する比率>



(3) 腎臓再生医療への期待

「期待している」が66.9%でした。(図4-2、Ⅳ集計表 問5-3参照)

図4-2 腎臓の再生医療への期待<回答総数1035の構成比>



Ⅲ-5. 職業生活

(1) 現在の就労状況

「就労をしている」は21.1%、「就労していない」は70.1%、無回答が8.8%でした。（Ⅳ集計表 問6-1参照）

(2) 有職者の労働形態と就労日数

「就労している」(218人)の就労形態は「自営」(25.7%)が最も多く、続いて「非正規社員」(22.9%)、「正社員」(20.2%)となっていました。

(図5-1、Ⅳ集計表 問6-2参照)

一週間の就労日数は「5日」が47.2%で最も多くなっていました。

(図5-2、Ⅳ集計表 問6-4参照)

図5-1 現在の就労形態
＜就労している201人の構成比＞

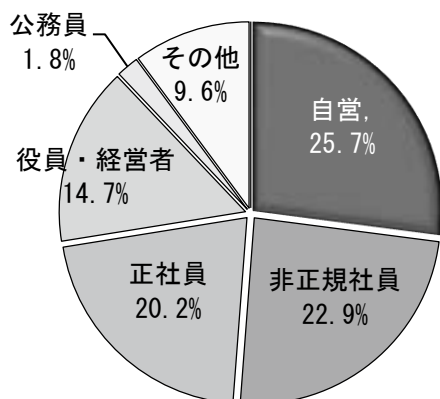
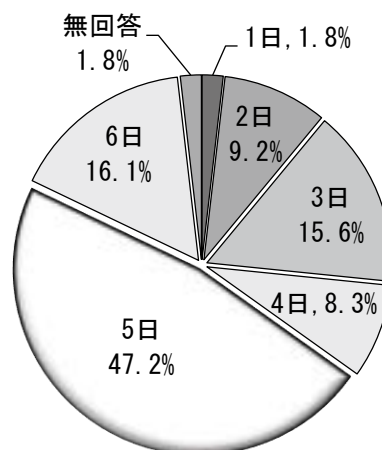


図5-2 一週間の就労日数
＜就労している201人の構成比＞



(3) 職場の理解

「就労している」(218人)に対して、「理解している」(56.9%)、「どちらかといえば理解している」(22.5%)合わせて79.4%を占めていました。一方「どちらともいえない」は7.3%、「あまり理解していない」は3.7%、「職場に話していない」は3.7%でした。（Ⅳ集計表 問6-5参照）

(4) 就労支援

「就労している」(218人)に対して、「障害を持つ前と同じ職場で就労」は61.0%でした。障害を持ったあとに仕事について方で、就職するときに支援を受けたところは「ハローワーク」で9.6%、「障害者就労支援センター」で1.4%でした。

(Ⅳ集計表 問6-3参照)

（５）就労上困ったときの相談者

「家族・友人」(47.7%)、「職場の上司」(41.3%)、「医師・看護師・技士」(19.7%)、「職場の同僚」(16.1%)、「ケアマネジャー/ケースワーカー」(3.7%)、「患者会」(2.3%)でした。（Ⅳ集計表 問6-6参照）

（６）仕事をしていない理由

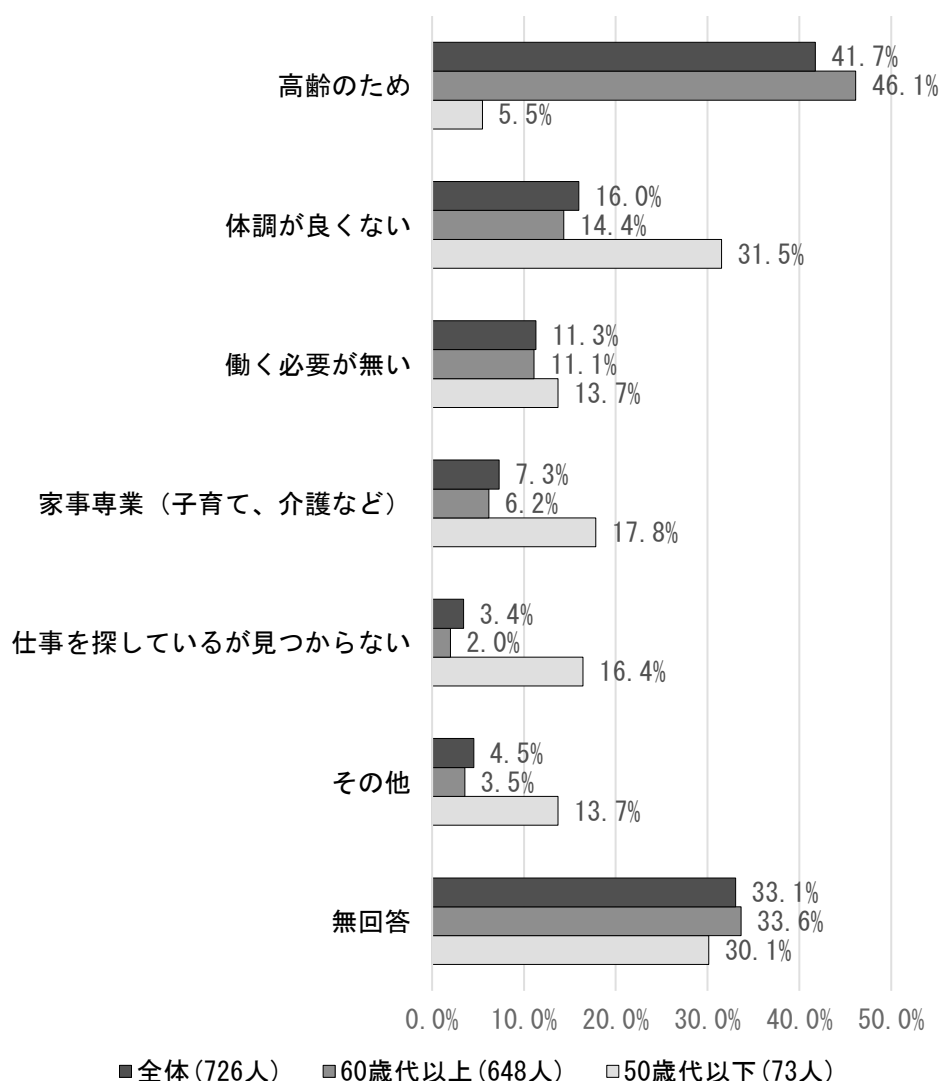
「就労していない」(726人)理由は「高齢のため」(41.7%)、「体調が良くない」(16.0%)、「働く必要が無い」(11.3%)、「家事専業（子育て、介護など）」(7.3%)、「その他」(4.5%)、「仕事を探しているが見つからない」(3.4%)でした。

（図5-3、Ⅳ集計表 問6-7参照）

60歳代以上(648人)では、「高齢のため」が46.1%でした。

50歳代以下(73人)では、「体調が良くない」が最も多く31.5%でした。

図5-3 仕事をしていない理由（複数回答）
＜全体726人、60歳代以上648人、50歳代以下73人に対する比率＞



Ⅲ-6. 家庭の状況および経済状況

(1) 公的年金の受給状況

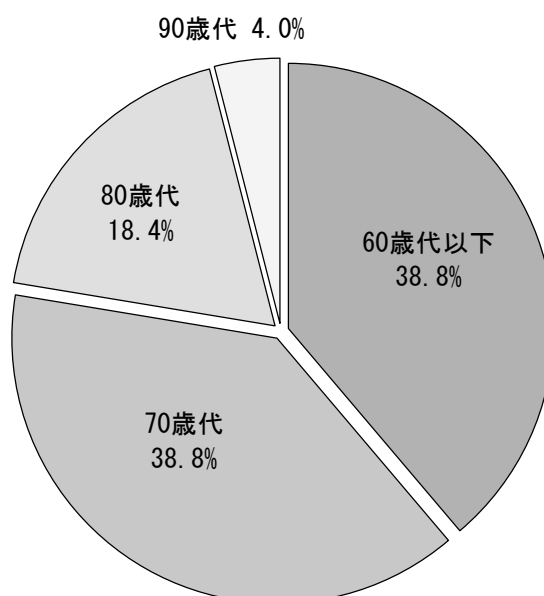
「公的年金を受けている」は83.0%、「公的年金を受けていない」は7.8%でした。（Ⅳ集計表 問7-1参照）

(2) 同居家族

「配偶者」が56.1%、「子供」が22.9%、「一人暮らし」が19.4%(201人)でした。
「一人暮らし」(201人)の年齢階級の構成比は「70歳代」が38.8%、「80歳代」が18.4%、「90歳代」が4.0%でした。

(図6-1、Ⅳ集計表 問7-2参照)

図 6-1 一人暮らしの年齢＜該当者 201 人の構成比＞



(3) 家計の中心

「自身」が55.3%、「配偶者」が26.0%でした。（Ⅳ集計表 問7-3参照）

(4) 患者本人の年収（Ⅳ集計表 問7-4参照）

「100万円未満」が21.1%、「100万円以上200万円未満」が22.0%、「200万円以上300万円未満」が17.4%で、300万円未満の人が60.5%でした。なお、「収入なし」が6.6%、「生活保護受給」は2.5%、無回答は10.7%でした。（図6-2参照）

「一人暮らし」「家計中心が自身」の年収階級別人数は図6-3に示しました。

図6-2 患者本人の年収＜回答総数1035の構成比＞

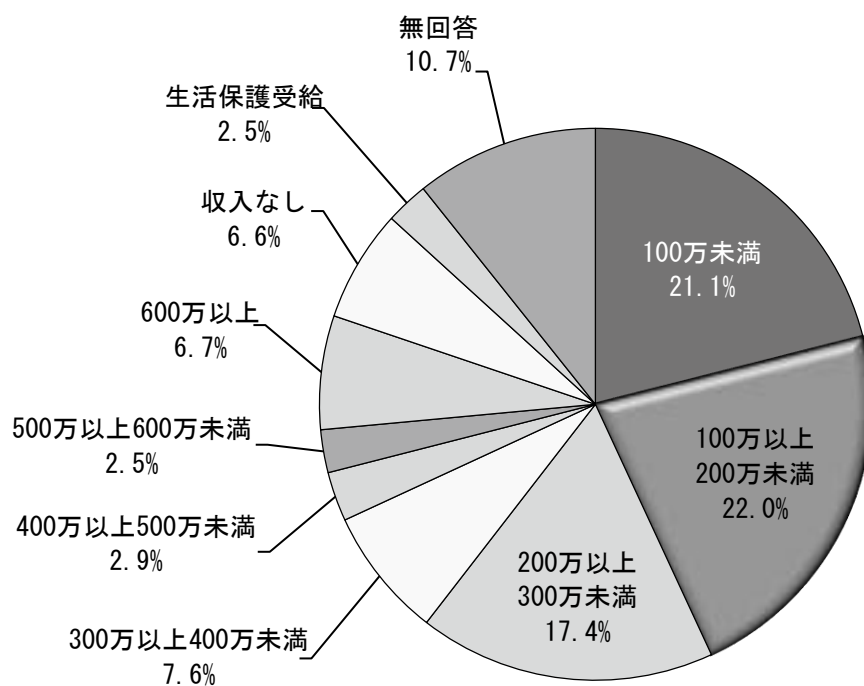
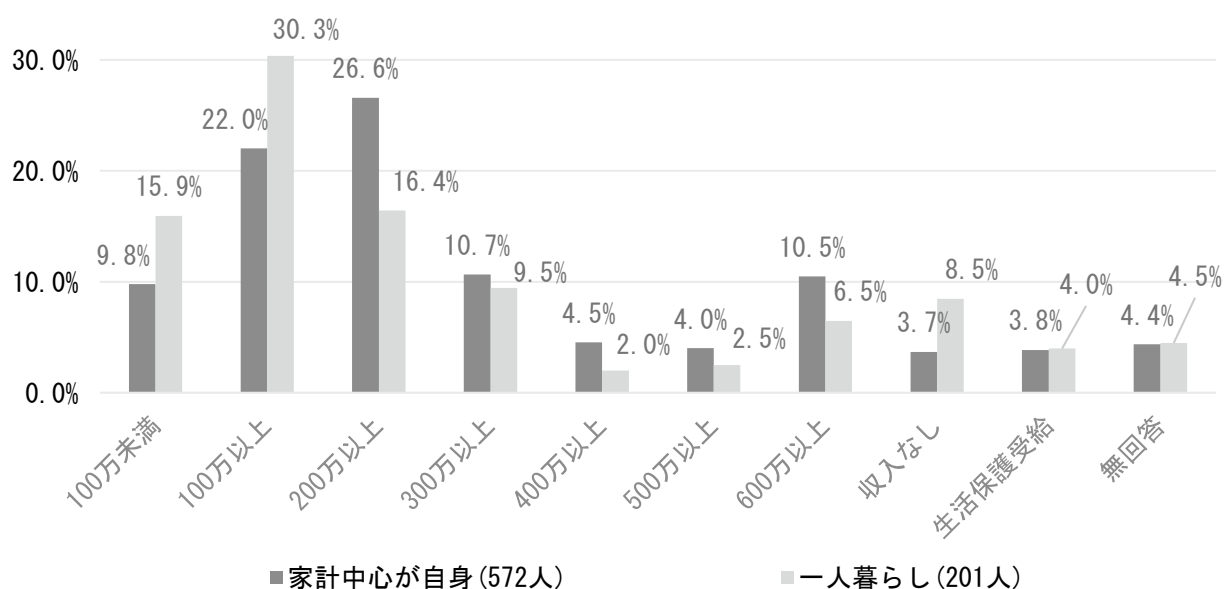


図6-3 年収階級別分布＜家計中心が自身の592人、一人暮らし201人の構成比＞

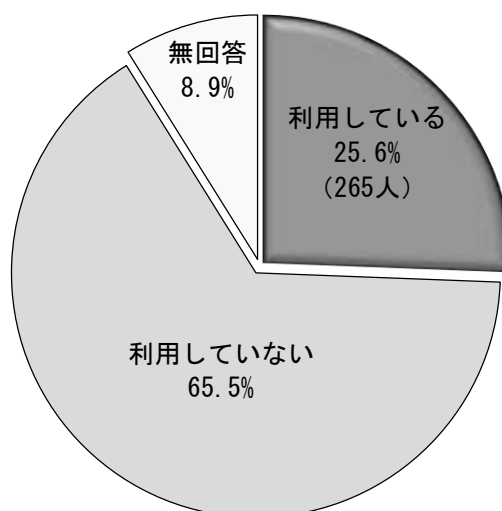


Ⅲ-7. 介護保険

(1) 介護保険の利用状況

介護保険を「利用している」が25.6%(265人)、「利用していない」が65.5%、「無回答」が8.9%でした。(図7-1、Ⅳ集計表 問8-1参照)

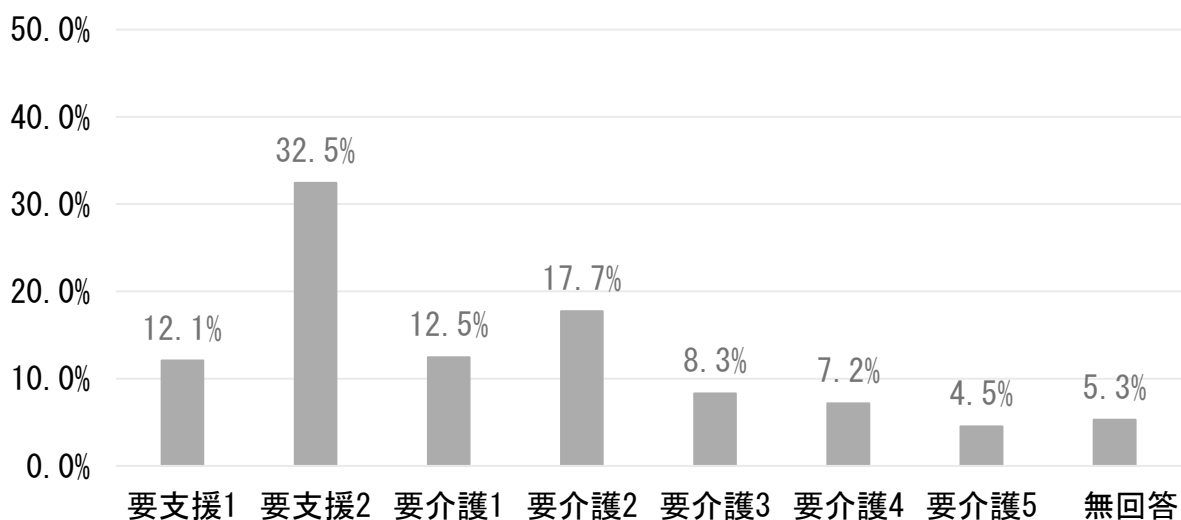
図7-1 介護保険の利用状況<回答総数1035の構成比>



(2) 介護保険の介護認定

介護保険を「利用している」265人の要介護度は、最も多いのが「要支援2」(32.5%)で、続いて「介護2」(17.7%)でした。(図7-2、Ⅳ集計表 問8-2参照)

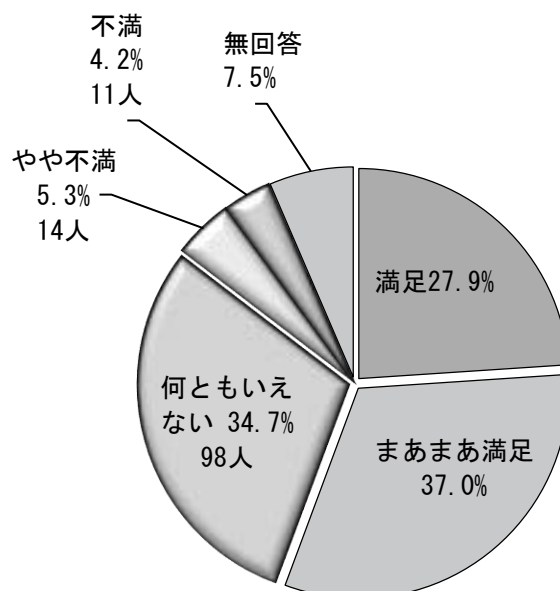
図7-2 要介護度 <介護保険を「利用している」265人の構成比>



（３）介護保険の給付（サービス内容）の満足度

介護保険を「利用している」265人で介護サービスに「満足」は27.9%、「まあまあ満足」は37.0%でした。一方、「なんともいえない」は34.7%、「やや不満」が5.3%、「不満」が4.2%でした。（図7-3、Ⅳ集計表 問8-3参照）

図7-3 介護保険の満足＜介護保険を「利用している」265人の構成比＞

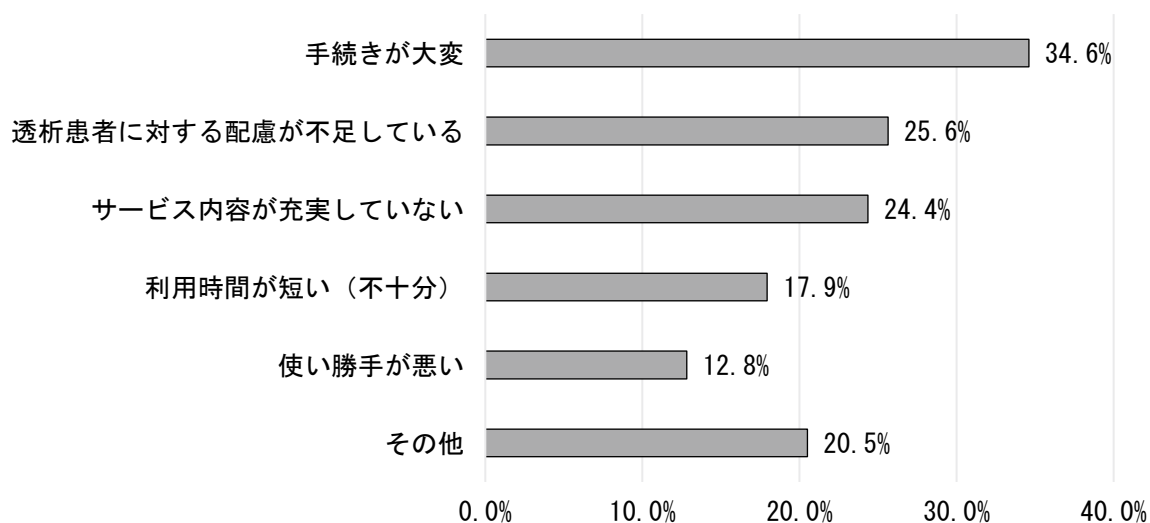


（４）介護保険の給付（サービス内容）に不満の理由

「介護保険の給付（サービス内容）に不満の理由」に回答のあった78人の回答を図7-4に示しました。

（Ⅳ集計表 問8-4参照）

図7-4 介護保険の給付（サービス内容）に不満の理由（複数回答）
＜「介護保険の給付に不満の理由」に回答のあった78人に対する比率＞

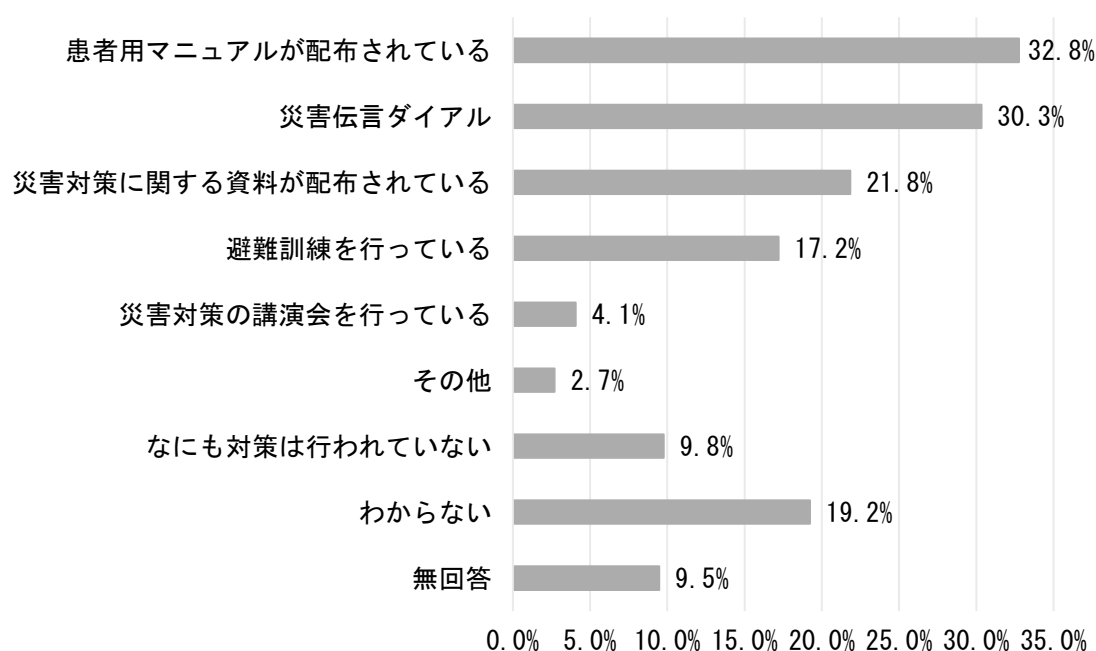


Ⅲ-8. 災害対策について

(1) 透析施設の災害対策

かかりつけの透析施設の災害対策として、「患者用マニュアルが配布されている」が32.8%、「災害伝言ダイヤル」が30.3%、「災害対策に関する資料が配布されている」が21.8%、「災害訓練をおこなっている」が17.2%、「災害対策の講演会をおこなっている」が4.1%ある一方で、「なにも対策は行われていない」が9.8%、「わからない」が19.2%、「無回答」が9.5%でした。（図8-1、Ⅳ集計表 問9-1参照）

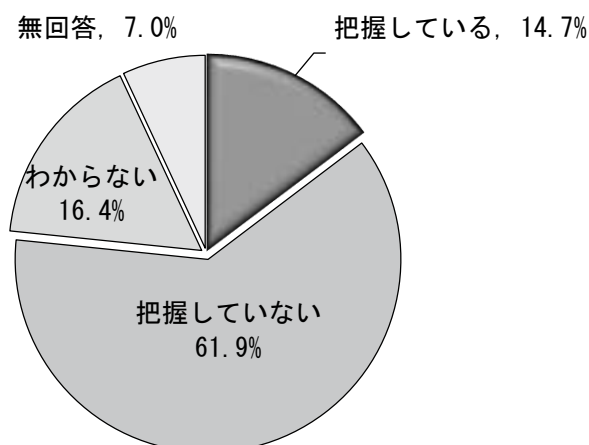
図8-1 透析施設の災害対策（複数回答）＜回答総数1035に対する比率＞



(2) 代替透析施設の把握

災害時にかかりつけの透析施設で透析ができない場合の代替透析施設を「把握している」は14.7%でした。「把握していない」は61.9%、「わからない」は16.4%、「無回答」は7.0%でした。（図8-2、Ⅳ集計表 問9-3参照）

図8-2 代替透析施設の把握＜回答総数1035の構成比＞

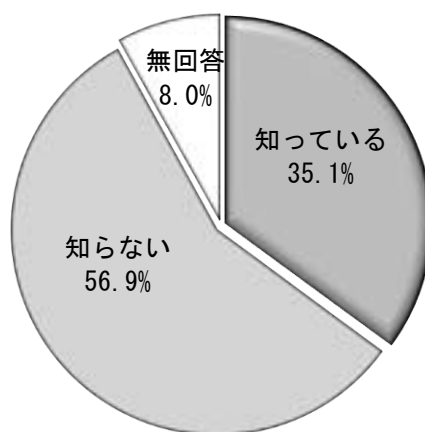


（３）災害時における水分・カリウム・カロリーの摂取値

「知っている」が35.1%、「知らない」が56.9%、「無回答」が8.0%でした。

（図8-3、Ⅳ集計表 問9-2参照）

図8-3 災害時における水分・カリウム・カロリーの摂取値
＜回答総数1035の構成比＞



（４）日常の災害の備え

「日頃から備えている」が46.3%、「何もしていない」が44.6%、「無回答」が9.1%でした。（図8-4、Ⅳ集計表 問9-4参照）

（５）災害時に備えていること

「日頃から備えている」（479人）の具体的な内容は「水や食料の備蓄」が90.0%、「常備薬の備蓄」が67.2%、「災害手帳の携帯」は44.9%、「避難生活用品の備蓄」は37.6%、「家具の転倒防止」は37.6%でした。（図8-5、Ⅳ集計表 問9-5参照）

図8-4 日常の災害の備え
＜回答総数1035の構成比＞

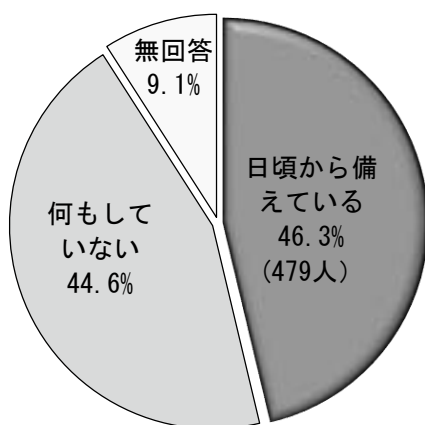
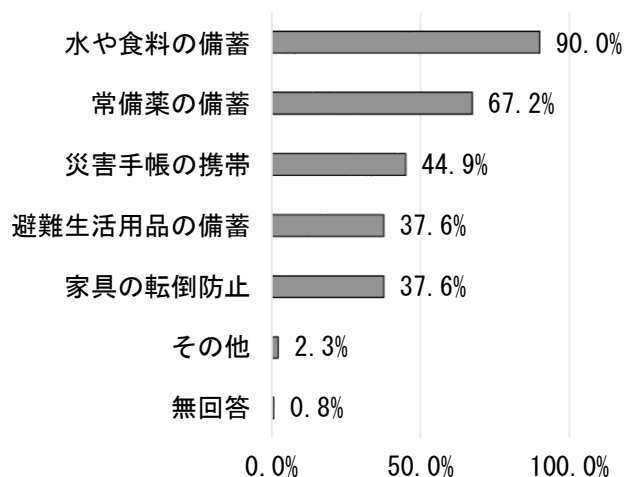


図8-5 災害時に備えていること（複数回答）
＜日頃から備えている479人に対する比率＞



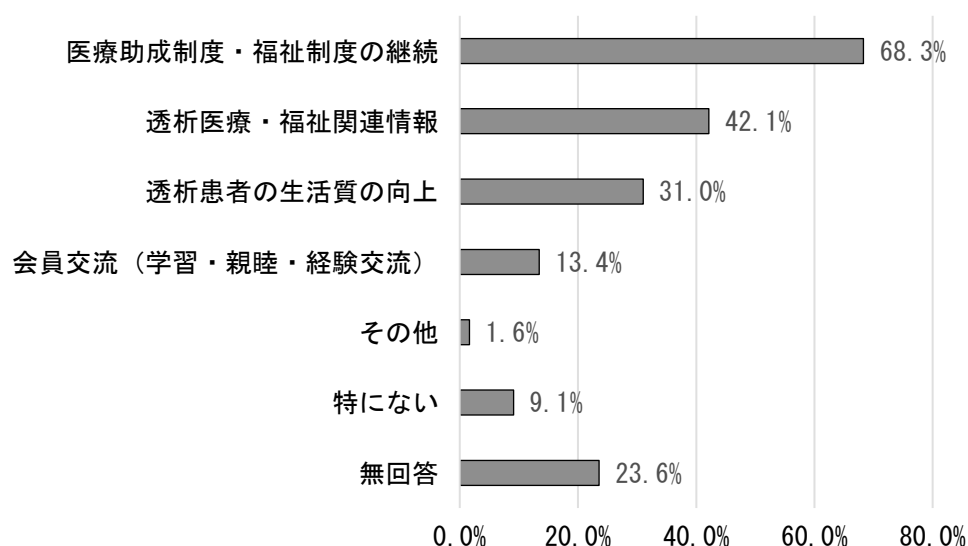
Ⅲ-9. 患者会への期待

(1) 東腎協に期待していること

「医療助成制度・福祉制度の継続」が68.3%、「透析医療・福祉関連情報」が42.1%、「透析患者の生活の質の向上」が31.0%、「会員交流」が13.4%でした。「特にない」は9.1%、「無回答」が23.6%でした。（図9-1、Ⅳ集計表 問10-1 参照）

図9-1 東腎協に期待していること（複数回答）

<回答総数1035に対する比率>



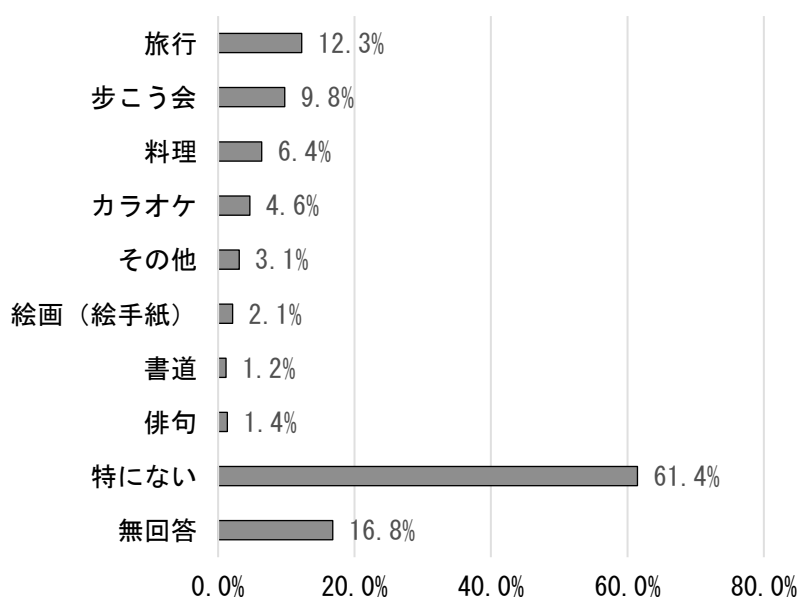
(2) 東腎協に開催してもらいたい趣味の会

主なものとしては、「旅行」(12.3%)、「歩こう会」(9.8%)、「料理」(6.4%)、「カラオケ」(4.6%)でした。「特にない」は61.4%、「無回答」は16.8%でした。

（図9-2、Ⅳ集計表 問10-2 参照）

図9-2 東腎協に開催してもらいたい趣味の会（複数回答）

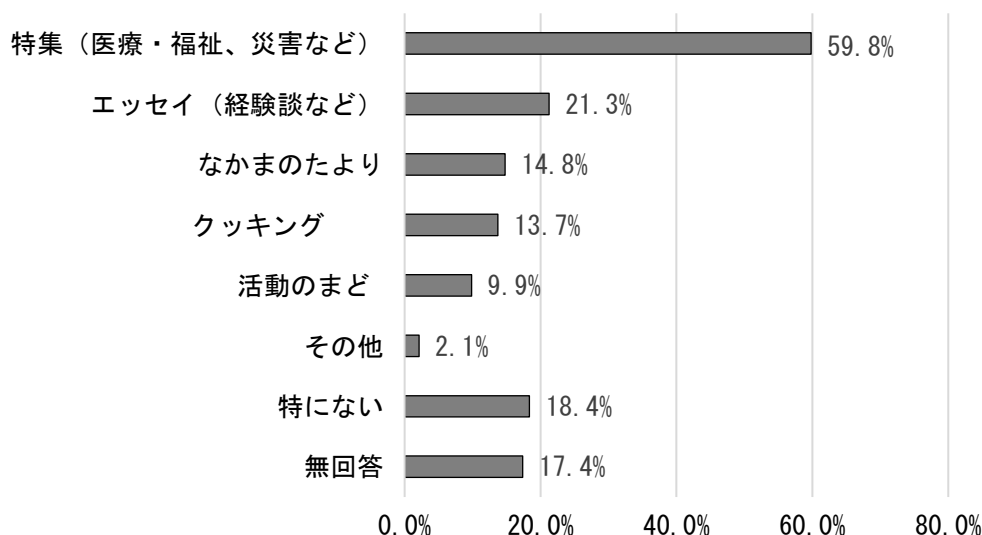
<回答総数1035に対する比率>



（３）機関誌「とうじんきょう」に期待する記事

「特集（医療・福祉・災害など）」が 59.8%と突出していました。「特にない」は 18.4%、「無回答」は 17.4%でした。（図 9-3、Ⅳ集計表 問 10-3 参照）

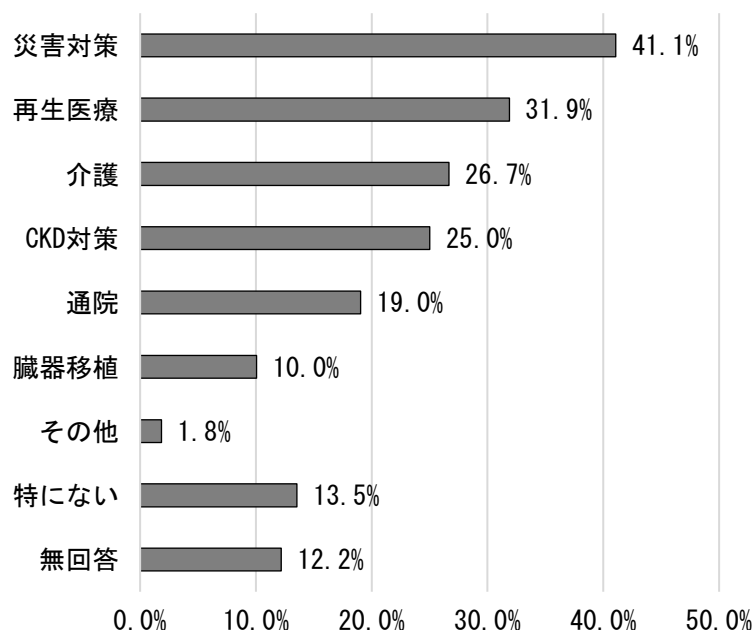
図9-3 機関誌「とうじんきょう」に期待する記事（複数回答）
＜回答総数1035に対する比率＞



（４）国会請願の項目に期待すること

「災害対策」が 41.1%と最も多く、続いて「再生医療」（31.9%）、「介護」（26.7%）、「CKD 対策」（25.0%）、「通院」（19.0%）、「臓器移植」（10.0%）でした。「特にない」は 13.5%、「無回答」は 12.3%でした。（図 9-4、Ⅳ集計表 問 11-1 参照）

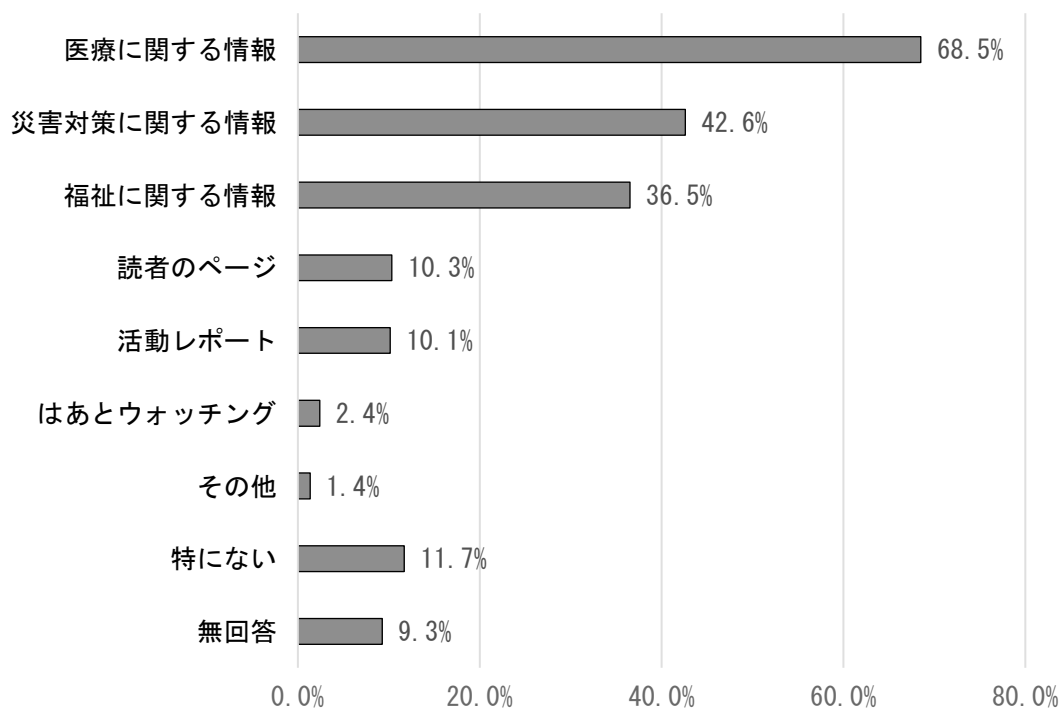
図9-4 国会請願の項目に期待すること（複数回答）
＜回答総数1035に対する比率＞



（５）機関誌「ぜんじんきょう」に期待する記事

「医療に関する情報」が68.5%と突出して多く、「災害対策に関する情報」(42.6%)、「福祉に関する介護」(36.5%)と続きました。「特にない」は11.7%、「無回答」は9.3%でした。（図9-5、Ⅳ集計表 問11-2 参照）

図9-5 機関誌「ぜんじんきょう」に期待する記事（複数回答）
＜回答総数1035に対する比率＞



IV. 集計表

IV - 1. 回答者の特徴

・問1-1：年代												
		10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	無回答
総数	1035 (100)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	8 (0.8)	30 (2.9)	123 (11.9)	235 (22.7)	378 (36.5)	228 (22.0)	26 (2.5)	7 (0.7)
性別												
男性	569 (100)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	5 (0.5)	14 (1.4)	70 (6.8)	133 (12.9)	209 (20.2)	125 (12.1)	13 (1.3)	0 (0.0)
女性	434 (100)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (0.3)	15 (1.4)	52 (5.0)	100 (9.7)	159 (15.4)	94 (9.1)	11 (1.1)	0 (0.0)
無回答	32 (100)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.1)	1 (0.1)	2 (0.2)	10 (1.0)	9 (0.9)	2 (0.2)	7 (0.7)

・問1-2：性別

	男性	女性	無回答
総数	1035 (100)	569 (55.0)	434 (41.9)
			32 (3.1)

・問1-3：現住所

23区		640 (61.8)	多摩地区	366 (35.4)	県別 合計		1035 (100)	人 (%)
(1) 千代田区	(24) 八王子市	5 (0.5)	(24) 八王子市	51 (4.9)	(47) あきる野市	6 (0.6)		
(2) 中央区	(25) 立川市	6 (0.6)	(25) 立川市	41 (4.0)	(48) 稲城市	4 (0.4)	23区	640 (61.8)
(3) 港区	(26) 武蔵野市	6 (0.6)	(26) 武蔵野市	10 (1.0)	(49) 羽村市	3 (0.3)	多摩地区	366 (35.4)
(4) 新宿区	(27) 三鷹市	11 (1.1)	(27) 三鷹市	13 (1.3)	(50) 西多摩郡	3 (0.3)		
(5) 文京区	(28) 青梅市	7 (0.7)	(28) 青梅市	6 (0.6)	(51) 島しょ	1 (0.1)	(52) 神奈川	2 (0.2)
(6) 台東区	(29) 府中市	17 (1.6)	(29) 府中市	28 (2.7)			(53) 埼玉県	18 (1.7)
(7) 墨田区	(30) 昭島市	49 (4.7)	(30) 昭島市	24 (2.3)			(54) 千葉県	2 (0.2)
(8) 江東区	(31) 調布市	60 (5.8)	(31) 調布市	3 (0.3)			(55) その他	3 (0.3)
(9) 品川区	(32) 町田市	4 (0.4)	(32) 町田市	28 (2.7)				
(10) 目黒区	(33) 小金井市	1 (0.1)	(33) 小金井市	0 (0.0)			無回答	4 (0.4)
(11) 大田区	(34) 小平市	42 (4.1)	(34) 小平市	4 (0.4)				
(12) 世田谷区	(35) 日野市	28 (2.7)	(35) 日野市	25 (2.4)				
(13) 渋谷区	(36) 東村山市	9 (0.9)	(36) 東村山市	5 (0.5)				
(14) 中野区	(37) 国分寺市	22 (2.1)	(37) 国分寺市	12 (1.2)				
(15) 杉並区	(38) 国立市	52 (5.0)	(38) 国立市	21 (2.0)				
(16) 豊島区	(39) 西東京市	4 (0.4)	(39) 西東京市	11 (1.1)				
(17) 北区	(40) 福生市	5 (0.5)	(40) 福生市	5 (0.5)				
(18) 荒川区	(41) 狛江市	7 (0.7)	(41) 狛江市	1 (0.1)				
(19) 板橋区	(42) 東大和市	41 (4.0)	(42) 東大和市	7 (0.7)				
(20) 練馬区	(43) 東久留米市	95 (9.2)	(43) 東久留米市	2 (0.2)				
(21) 足立区	(44) 清瀬市	53 (5.1)	(44) 清瀬市	26 (2.5)				
(22) 葛飾区	(45) 武蔵村山市	18 (1.7)	(45) 武蔵村山市	15 (1.4)				
(23) 江戸川区	(46) 多摩市	98 (9.5)	(46) 多摩市	11 (1.1)				

・問1-4

通院している透析施設は住まいと同じ区市町村か		総数	1035 (100)	人 (%)
同じ		695	67.1	
同じでない		329	31.8	
無回答		11	1.1	

・問1-5：現在受けている治療法－年代別

	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	無回答	人 (%)
血液透析	1010 (100)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	6 (0.6)	30 (2.9)	121 (11.7)	230 (22.2)	369 (35.7)	224 (21.6)	26 (2.5)	4 (0.4)
腹膜透析	3 (100)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (0.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
血液・腹膜併用	2 (100)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.1)	0 (0.0)	0 (0.0)
腎臓移植	5 (100)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.1)	0 (0.0)	1 (0.1)	1 (0.1)	2 (0.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
慢性腎臓病	4 (100)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.1)	3 (0.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
無回答	11 (100)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.1)	0 (0.0)	4 (0.4)	3 (0.3)	0 (0.0)	3 (0.3)
総数	1035 (100)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	8 (0.8)	30 (2.9)	123 (11.9)	235 (22.7)	378 (36.5)	228 (22.0)	26 (2.5)	7 (0.7)

・問1-6：血液透析の治療歴－年代別

	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上 35年未満	35年以上 40年未満	40年以上 45年未満	45年以上	無回答	人 (%)
総数	1010 (100)	203 (100)	209 (100)	177 (100)	124 (100)	100 (100)	75 (100)	52 (100)	25 (100)	14 (100)	7 (100)	24 (100)
20歳代	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
30歳代	6 (0.6)	3 (1.5)	1 (0.5)	1 (0.6)	1 (0.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
40歳代	30 (3.0)	5 (2.5)	10 (4.8)	5 (2.8)	2 (1.6)	3 (3.0)	3 (4.0)	1 (1.9)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
50歳代	121 (12.0)	27 (13.3)	18 (8.6)	22 (12.4)	14 (11.3)	15 (15.0)	11 (14.7)	9 (17.3)	3 (12.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
60歳代	230 (22.8)	38 (18.7)	40 (19.1)	40 (22.6)	42 (33.9)	22 (22.0)	18 (24.0)	14 (26.9)	6 (24.0)	3 (21.4)	4 (57.1)	2 (8.3)
70歳代	369 (36.5)	66 (32.5)	73 (34.9)	60 (33.9)	43 (34.7)	41 (41.0)	30 (40.0)	21 (40.4)	14 (56.0)	10 (71.4)	3 (42.9)	2 (8.3)
80歳代	224 (22.2)	56 (27.6)	59 (28.2)	44 (24.9)	19 (15.3)	17 (17.0)	12 (16.0)	7 (13.5)	2 (8.0)	1 (7.1)	0 (0.0)	0 (0.0)
90歳代	26 (2.6)	8 (3.9)	7 (3.3)	4 (2.3)	3 (2.4)	1 (1.0)	1 (1.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
無回答	4 (0.4)	0 (0.0)	1 (0.5)	1 (0.6)	0 (0.0)	1 (1.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
総数の構成比	1010 (100)	203 (20.1)	209 (20.7)	177 (17.5)	124 (12.3)	100 (9.9)	75 (7.4)	52 (5.1)	25 (2.5)	14 (1.4)	7 (0.7)	24 (2.4)

腹膜透析の治療歴

血液透析を受けている方の過去の腹膜透析治療歴				人 (%)
総数		5年未満	5年以上 10年未満	10年以上
腹膜透析治療歴		63 (100.0)	30 (47.6)	27 (42.9) 6 (9.5)

現在腹膜透析を受けている方の治療歴				人
総数		5年未満	5年以上 10年未満	10年以上
腹膜透析		3	2	1 0
血液透析併用		2	2	0 0

移植歴

現在血液透析を受けている方の過去の移植歴				人 (%)
総数		5年未満	5年以上 10年未満	10年以上
移植歴		19 (100)	3 (15.8)	6 (31.6) 10 (52.6)

現在移植を受けている方				人
総数		5年未満	5年以上 10年未満	10年以上
現在治療中		5	1	0 4

・問1-7：透析導入年齢

人 (%)									
		20歳代未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代 90歳代 無回答
総数		1035 (100)	19 (1.8)	48 (4.6)	95 (9.2)	170 (16.4)	204 (19.7)	205 (19.8)	200 (19.3) 77 (7.4) 2 (0.2) 15 (1.4)

・問1-8：腎臓病発見のきっかけ

	健康診断の結果により、病院で					別の病気の治療中に	その他	無回答
自覚症状があり病院で	395 (38.2)	276 (26.7)	297 (28.7)	35 (3.4)	32 (3.1)			
総数	1035 (100)							

・問1-9：透析に至った原疾患をお答えください。

	人 (%)						
	糖尿病性 腎症	慢性糸球体 腎炎	腎硬化症	多発性 腎嚢胞	その他	不明	無回答
総数	1035 (100)	235 (22.7)	321 (31.0)	55 (5.3)	91 (8.8)	114 (11.0)	113 (10.9)
							106 (10.2)

・問1-10：慢性腎臓病と診断されてから透析導入まで年数

	人 (%)						
	1年未満	1年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 20年未満	20年以上	無回答	
総数	1035 (100)	289 (27.9)	293 (28.3)	188 (18.2)	92 (8.9)	94 (9.1)	79 (7.6)

透析歴別	999 (100)	281 (28.1)	287 (28.7)	182 (18.2)	91 (9.1)	90 (9.0)	68 (6.8)
5年未満	209 (100)	59 (28.2)	57 (27.3)	38 (18.2)	24 (11.5)	14 (6.7)	17 (8.1)
5年以上	212 (100)	56 (26.4)	70 (33.0)	41 (19.3)	11 (5.2)	16 (7.5)	18 (8.5)
10年未満	578 (100)	166 (28.7)	160 (27.7)	103 (17.8)	56 (9.7)	60 (10.4)	33 (5.7)

年齢別	1028 (100)	287 (27.9)	293 (28.3)	185 (17.9)	83 (8.0)	94 (9.1)	98 (9.5)
70歳未満	396 (100)	102 (25.8)	109 (27.5)	74 (18.7)	41 (10.4)	41 (10.4)	41 (10.4)
70歳以上	632 (100)	185 (29.3)	184 (29.1)	111 (17.6)	42 (6.6)	53 (8.4)	57 (9.0)

・問1-11：現在、どのような症状でお悩みでしょうか。

自覚症状の内容－性別・年齢別 (複数回答)		人 (%)
対象人数	989 (100)	
のどの渇き	117 (11.8)	
疲れ、だるさ	447 (45.2)	
かゆみ、むずむず感	324 (32.8)	
頭痛	55 (5.6)	
胃の痛み	30 (3.0)	
こむら返り、足がつる	306 (30.9)	
胸のむかつき、吐き気	48 (4.9)	
便秘	265 (26.8)	
下痢	58 (5.9)	
不安や心配な気持ち	105 (10.6)	
食欲がない	85 (8.6)	
動機、息切れ	145 (14.7)	
関節の痛み	134 (13.5)	
腰痛	289 (29.2)	
手足の痛み	159 (16.1)	
肩の痛み	142 (14.4)	
筋肉に力が入らない、脱力感	137 (13.9)	
手足のしびれ	220 (22.2)	
めまい、立ちくらみ	125 (12.6)	
血圧の低下がある	208 (21.0)	
その他	46 (4.7)	
特に症状なし	67 (6.8)	
無回答		53

自覚症状の保有数		人 (%)
自覚症状の保有数	保有数×人数	
症状なし	67 (6.8)	
1	133 (13.4)	133
2	213 (21.5)	426
3	178 (18.0)	534
4	147 (14.9)	588
5	75 (7.6)	375
6	58 (5.9)	348
7	41 (4.1)	287
8	24 (2.4)	192
9	19 (1.9)	171
10	20 (2.0)	200
11	3 (0.3)	33
12	2 (0.2)	24
13	3 (0.3)	39
14	2 (0.2)	28
15	0 (0.0)	0
16	2 (0.2)	32
17	1 (0.1)	17
18	1 (0.1)	18
19	0 (0.0)	0
20	0 (0.0)	0
21	0 (0.0)	0
計		3445

平均保有数 3445 / 989 =3.5 個

・問1-12：事前指示書を作成

総数	人 (%)				
作成している	1035 (100)				
作成していない	105 (10.1)				
そのようなことは考えたくない	752 (72.7)				
わからない	57 (5.5)				
無回答	56 (5.4)				
	65 (6.3)				
	60歳未満	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
作成している	12	17	40	31	5
作成していない	131	193	271	146	11
そのようなことは考えたくない	7	9	17	20	4
わからない	7	9	27	11	2
無回答	11	7	23	20	4
	10年以上 10年未満	20年以上 20年未満	30年以上 30年未満	40年以上 40年未満	
作成している	44	30	15	13	2
作成していない	297	233	131	59	14
そのようなことは考えたくない	24	17	11	1	2
わからない	26	13	10	3	1
無回答	30	10	9	2	2
	男性	女性		無回答	
作成している	57 (10.0)	45 (10.4)		3	
作成していない	420 (73.8)	314 (72.4)		18	
そのようなことは考えたくない	32 (5.6)	21 (4.8)		4	
わからない	31 (5.4)	23 (5.3)		2	
無回答	29 (5.1)	31 (7.1)		5	

IV-2. あなたの通院状況について

・問2-1：通院時間

	人 (%)			
	30分以上 1時間未満	30分以上 2時間未満	2時間以上	無回答
総数	1035 (100)	808 (78.1)	157 (15.2)	0 (0.0)
	53 (5.1)			

	人 (%)			
	無回答	46 (4.4)		

・問2-2：主な通院手段

	総数	徒歩	自転車	電車等の公共交通機関	自家用車	オートバイ	タクシー	家族による送迎	透析施設の送迎車	ボランティア団体等の送迎車	介護保険を利用した通院	その他
総計	1035 (100)	113 (10.9)	63 (6.1)	147 (14.2)	138 (13.3)	12 (1.2)	19 (1.8)	42 (4.1)	380 (36.7)	5 (0.5)	6 (0.6)	64 (6.2)
介護保険利用	265 (100)	9 (3.4)	4 (1.5)	16 (6.0)	14 (5.3)	0 (0.0)	6 (2.3)	15 (5.7)	179 (67.5)	0 (0.0)	5 (1.9)	10 (3.8)

・問2-3：透析施設の送迎車の費用（1ヶ月）

	対象人数	かからない 500円以内	1,000円以内	1,001円以上	無回答
総計	380 (100)	300 (78.9)	3 (0.8)	57 (15.0)	1 (0.3)
	19 (5.0)				

・問2-6：通院時の付き添いの方

	対象人数	939 (90.7)	人 (%)
一人で通っている	811 (86.4)		
配偶者（妻または夫）	58 (6.2)		
子ども	15 (1.6)		
その他の家族・親類	7 (0.7)		
友達	4 (0.4)		
介護保険のホームヘルパー	16 (1.7)		
障害福祉のホームヘルパー	4 (0.4)		
その他	24 (2.6)		
無回答	96 (10.2)		

・問2-4：透析施設の送迎が有料になった場合、1ヶ月いくら位まで負担できるか。

	対象人数	1,000円以内	5,000円以内	10,000円以内	10,000円以上	無回答
総計	380 (100)	163 (42.9)	110 (28.9)	32 (8.4)	3 (0.8)	72 (18.9)

・問2-5：透析施設の送迎車を利用しない方の通院のための費用（1ヶ月）

	対象人数	かからない 1,000円以内	5,000円以内	10,000円以内	10,000円以上	無回答
総計	655 (100)	192 (29.3)	55 (8.4)	149 (22.7)	68 (10.4)	40 (6.1)
	151 (23.1)					

IV - 3. あなたの自己管理について

・問3-1：血液検査の結果表

	人 (%)
総数	1035 (100)
渡されている	960 (92.8)
渡されていない	19 (1.8)
無回答	56 (5.4)

・問3-2：平均的な血色素量 (Hb)

	人 (%)
総数	1035 (100)
10g/dl未満	116 (11.2)
10g/dl以上	331 (32.0)
11g/dl以上	273 (26.4)
わからない	141 (13.6)
無回答	174 (16.8)

・問3-3：平均的なアルブミン値 (Alb)

	人 (%)
総数	1035 (100)
3.5g/dl以下	268 (25.9)
3.6g/dl	122 (11.8)
3.7g/dl	90 (8.7)
3.8g/dl	87 (8.4)
3.9g/dl	46 (4.4)
4.0g/dl以上	57 (5.5)
わからない	180 (17.4)
無回答	185 (17.9)

・問3-4：食事管理で主に気をつけていること

(複数回答)	人 (%)
総数	1035 (100)
リン制限	705 (68.1)
カリウム制限	670 (64.7)
塩分制限	562 (54.3)
水分制限	567 (54.8)
カロリーの適切な摂取	145 (14.0)
タンパク質の適切な摂取	228 (22.0)
特に気をつけていない	56 (5.4)
その他	9 (0.9)
無回答	53 (5.1)

・問3-5：ふだん運動をしていること

(複数回答)	人 (%)
総数	1035 (100)
していない	397 (38.4)
散歩をしている	346 (33.4)
ストレッチ	195 (18.8)
筋力トレーニング	86 (8.3)
ラジオ体操	79 (7.6)
その他	99 (9.6)
無回答	53 (5.1)

・問3-6：薬を何種類飲んでいるか

	人 (%)
総数	1035 (100)
飲んでいない	6 (0.6)
1～3種類	67 (6.5)
4～6種類	303 (29.3)
7～9種類	347 (33.5)
10種類以上	239 (23.1)
無回答	73 (7.1)

・問3-7：透析以外の治療

(複数回答)	人 (%)
対象人数	962 (100)
受けていない	239 (24.8)
循環器科	224 (23.3)
整形外科	248 (25.8)
心療内科・精神科	37 (3.8)
腫瘍内科・外科	50 (5.2)
皮膚科	155 (16.1)
眼科	380 (39.5)
その他	204 (21.2)
無回答	73 (7.1)

Ⅳ - 4. あなたの透析治療について

・問4-1：透析時間帯

	対象人数	人 (%)
	981 (100.0)	
午前開始	663 (67.6)	
午後開始	227 (23.1)	
夜間	87 (8.9)	
深夜 (オーバーナイト)	4 (0.4)	
無回答	53 (5.1)	

・問4-3：透析中の過ごし方

(複数回答)	対象人数	人 (%)
	990 (100)	
テレビを見ている	703 (71.0)	
ラジオを聴いている	123 (12.4)	
パソコンやスマホを使っている	168 (17.0)	
読書	122 (12.3)	
寝ている	486 (49.1)	
特に何もしていない	80 (8.1)	
運動をしている	31 (3.1)	
その他	39 (3.9)	
無回答	45 (4.6)	

・問4-2：透析時間

	3時間以下	3時間30分	4時間	4時間30分	5時間	5時間30分	6時間以上	無回答
総数	999	73 (7.3)	661 (66.2)	85 (8.5)	93 (9.3)	8 (0.8)	0 (0.0)	39 (3.9)
5年未満	209 (100)	37 (17.7)	119 (56.9)	13 (6.2)	8 (3.8)	1 (0.5)	0 (0.0)	10 (4.8)
5年以上 10年未満	212 (100)	8 (3.8)	17 (8.0)	144 (67.9)	18 (8.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	8 (3.8)
10年以上 20年未満	303 (100)	8 (2.6)	11 (3.6)	210 (69.3)	24 (7.9)	4 (1.3)	0 (0.0)	12 (4.0)
20年以上 30年未満	176 (100)	2 (1.1)	4 (2.3)	118 (67.0)	27 (15.3)	3 (1.7)	0 (0.0)	6 (3.4)
30年以上 40年未満	78 (100)	1 (1.3)	2 (2.6)	59 (75.6)	2 (2.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (2.6)
40年以上	21 (100)	0 (0.0)	2 (9.5)	11 (52.4)	1 (4.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (4.8)

IV - 5. 腎移植に対して考えていること

・問5-1：腎移植を希望しますか。

	人 (%)
総数	1035 (100.0)
希望する	124 (12.0)
希望しない	649 (62.7)
わからない	172 (16.6)
無回答	90 (8.7)

・問5-2：腎移植の希望をしていない理由

(複数回答)	人 (%)
対象人数	649 (100.0)
現在の透析療法に満足している	246 (37.9)
献腎移植の場合は時間がかかる	65 (10.0)
移植への不安	113 (17.4)
年齢的体力的に無理	344 (53.0)
費用が心配	66 (10.2)
その他	42 (6.5)

・問5-3：腎臓の再生医療への期待

	人 (%)
総数	1035 (100.0)
期待している	692 (66.9)
期待していない	73 (7.1)
わからない	168 (16.2)
無回答	102 (9.9)

Ⅳ－６．仕事等について

・問6-1：現在の就労の有無－性別・年代別・透析歴別

	人 (%)			
	している	していない	無回答	
総数	1035 (100)	218 (21.1)	726 (70.1)	91 (8.8)
性別				
男性	569 (100)	153 (26.9)	371 (65.2)	45 (7.9)
女性	434 (100)	60 (13.8)	335 (77.2)	39 (9.0)
無回答	32 (100)	5 (15.6)	20 (62.5)	7 (21.9)
年代別				
20歳代	0	0	0	0
30歳代	8 (100)	2 (25.0)	5 (62.5)	1 (12.5)
40歳代	30 (100)	16 (53.3)	13 (43.3)	1 (3.3)
50歳代	123 (100)	60 (48.8)	55 (44.7)	8 (6.5)
60歳代	235 (100)	64 (27.2)	159 (67.7)	12 (5.1)
70歳代	378 (100)	56 (14.8)	278 (73.5)	44 (11.6)
80歳代	228 (100)	18 (7.9)	189 (82.9)	21 (9.2)
90歳以上	26 (100)	1 (3.8)	22 (85)	3 (11.5)
無回答	7 (100)	1 (14.3)	5 (71.4)	1 (14.3)
透析歴別				
10年未満	421 (100)	91 (21.6)	292 (69.4)	38 (9.0)
10年以上	303 (100)	64 (21.1)	216 (71.3)	23 (7.6)
20年未満	176 (100)	34 (19.3)	124 (70.5)	18 (10.2)
20年以上	99 (100)	22 (22.2)	73 (73.7)	4 (4.0)
30年未満				
30年以上	36 (100)	7 (19.4)	21 (58.3)	8 (22.2)
無回答				

・問6-2：現在の就労形態－性別・年代別・透析歴別

	人 (%)			
	男性	女性	無回答	
総数	218 (100)	153 (100)	60 (100)	5 (100)
正社員	44 (20.2)	36 (23.5)	6 (10.0)	2 (40.0)
非正規社員	50 (22.9)	25 (16.3)	25 (41.7)	0 (0.0)
役員・経営者	32 (14.7)	28 (18.3)	3 (5.0)	1 (20.0)
公務員	4 (1.8)	3 (2.0)	1 (1.7)	0 (0.0)
自営	56 (25.7)	41 (26.8)	14 (23.3)	1 (20.0)
その他	21 (9.6)	13 (8.5)	7 (11.7)	1 (20.0)
無回答	0 (0.0)	7 (4.6)	4 (6.7)	0 (0.0)
	50歳代以下 60歳代以上 無回答			
総数	219 (100)	79 (100)	139 (100)	1 (100)
正社員	44 (20.2)	28 (35.4)	16 (11.5)	0 (0.0)
非正規社員	50 (22.9)	26 (32.9)	24 (17.3)	0 (0.0)
役員・経営者	32 (14.7)	5 (6.3)	27 (19.4)	0 (0.0)
公務員	4 (1.8)	0 (0.0)	4 (2.9)	0 (0.0)
自営	57 (26.1)	13 (16.5)	43 (30.9)	1 (100.0)
その他	21 (9.6)	7 (8.9)	14 (10.1)	0 (0.0)
無回答	11 (5.0)	0 (0.0)	11 (7.9)	0 (0.0)

- ・問6-3：障害を持った後に仕事に就いた方、就職をするときに支援を受けたところ

人 (%)							
	障害を持つ 前と同じ職 場で就労	ハローワーク	障害者就労 支援セン ター	障害者派遣 企業	その他 無回答		
総数	218 (100)	133 (61.0)	21 (9.6)	3 (1.4)	0 (0.0)	38 (17.4)	35 (16.1)

- ・問6-4：一週間で何日働いていますか。

	1日	2日	3日	4日	5日	6日	無回答
総数	218 (100)	4 (1.8)	20 (9.2)	34 (15.6)	18 (8.3)	103 (47.2)	35 (16.1)
							4 (1.8)

- ・問6-5：職場での透析への理解度

人 (%)								
	理解してい る	どちらかと 言えば理解 している	どちらとも 言えない	あまり理解 していない	全然理解し ていない	職場に話し ていない	無回答	
総数	218 (100)	124 (56.9)	49 (22.5)	16 (7.3)	8 (3.7)	0 (0.0)	8 (3.7)	5 (2.3)

- ・問6-6：就労上困ったことが起きたら、誰に相談するか
(複数回答)

	人 (%)								
	職場の上司	職場の同僚	家族・友人	医師 看護師 技士	ケアマネー ジャー/ケース ワーカー	患者会	その他	無回答	
総数	218 (100)	90 (41.3)	35 (16.1)	104 (47.7)	43 (19.7)	8 (3.7)	5 (2.3)	25 (11.5)	26 (11.9)

Ⅳ - 7. 生活について

・問7-1：現在、公的年金を受けているか

	人 (%)			
	男性		女性	無回答
総計	1035 (100)	569 (100)	434 (100)	32 (100)
公的年金を受けている	859 (83.0)	474 (83.3)	366 (84.3)	19 (59.4)
公的年金を受けていない	81 (7.8)	46 (8.1)	32 (7.4)	3 (9.4)
無回答	95 (9.2)	49 (8.6)	36 (8.3)	10 (31.3)

・問7-2：同居家族

問44												人 (%)
一人暮らし	配偶者	子ども	子どもの家族	孫	孫の家族	親	祖父母	兄弟姉妹	その他の親族	その他		
総数	1035 (100)	201 (19.4)	581 (56.1)	237 (22.9)	47 (4.5)	20 (1.9)	1 (0.1)	78 (7.5)	4 (0.4)	37 (3.6)	6 (0.6)	
												無回答
一人暮らし	60歳代以下	78 (38.8)	70歳代	78 (38.8)	80歳代	37 (18.4)	90歳代	8 (4.0)				68 (6.6)

・問7-3：家庭の生計の中心者

性別	人 (%)							
	自身	配偶者	子、又は 子の配偶者	親	兄弟・姉妹	その他	無回答	
総数	1035 (100)	572 (55.3)	269 (26.0)	42 (4.1)	35 (3.4)	10 (1.0)	32 (3.1)	75 (7.2)
男性	569 (100)	411 (72.2)	56 (9.8)	11 (1.9)	23 (4.0)	3 (0.5)	23 (4.0)	42 (7.4)
女性	434 (100)	145 (33.4)	208 (47.9)	27 (6.2)	12 (2.8)	7 (1.6)	9 (2.1)	26 (6.0)
無回答	32 (100)	16 (50.0)	5 (15.6)	4 (12.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	7 (21.9)

・問7-4：自身の年収

人 (%)														
	100万未満	100万以上 200万未満	200万以上 300万未満	300万以上 400万未満	400万以上 500万未満	500万以上 600万未満	600万以上	生活保護 受給	収入なし	無回答				
総数	1035 (100)	218 (21.1)	228 (22.0)	180 (17.4)	79 (7.6)	30 (2.9)	26 (2.5)	69 (6.7)	68 (6.6)	111 (10.7)				
性別														
男性	569 (100)	67 (11.8)	108 (19.0)	138 (24.3)	63 (11.1)	26 (4.6)	22 (3.9)	58 (10.2)	20 (3.5)	52 (9.1)				
女性	434 (100)	147 (33.9)	114 (26.3)	39 (9.0)	14 (3.2)	4 (0.9)	3 (0.7)	11 (2.5)	47 (10.8)	48 (11.1)				
無回答	32 (100)	4 (12.5)	6 (18.8)	3 (9.4)	2 (6.3)	0 (0.0)	1 (3.1)	0 (0.0)	1 (3.1)	11 (34.4)				
年代別														
20歳代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
30歳代	8 (100)	3 (37.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (12.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (37.5)	0 (0.0)				
40歳代	30 (100)	4 (13.3)	5 (16.7)	3 (10.0)	3 (10.0)	0 (0.0)	1 (3.3)	5 (16.7)	5 (16.7)	3 (10.0)				
50歳代	123 (100)	30 (24.4)	20 (16.3)	9 (7.3)	11 (8.9)	4 (3.3)	3 (2.4)	17 (13.8)	17 (13.8)	9 (7.3)				
60歳代	235 (100)	56 (23.8)	47 (20.0)	42 (17.9)	15 (6.4)	6 (2.6)	5 (2.1)	21 (8.9)	16 (6.8)	19 (8.1)				
70歳代	378 (100)	80 (21.2)	93 (24.6)	77 (20.4)	26 (6.9)	12 (3.2)	9 (2.4)	15 (4.0)	17 (4.5)	39 (10.3)				
80歳代	228 (100)	42 (18.4)	54 (23.7)	42 (18.4)	21 (9.2)	8 (3.5)	8 (3.5)	11 (4.8)	10 (4.4)	31 (13.6)				
90歳以上	26 (100)	3 (11.5)	8 (30.8)	7 (26.9)	2 (7.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	5 (19.2)				
無回答	7 (100)	0 (0.0)	1 (14.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	5 (71.4)				
有職者	218 (21.1)	36 (16.5)	36 (16.5)	28 (12.8)	30 (13.8)	10 (4.6)	12 (5.5)	55 (25.2)	3 (1.4)	7 (3.2)				
有職者以外	817 (78.9)	182 (22.3)	192 (23.5)	152 (18.6)	49 (6.0)	20 (2.4)	14 (1.7)	14 (1.7)	23 (2.8)	104 (12.7)				
一人暮らし	201 (100)	32 (15.9)	61 (30.3)	33 (16.4)	19 (9.5)	4 (2.0)	5 (2.5)	13 (6.5)	17 (8.5)	9 (4.5)				
家計中心が自身	572 (100)	56 (9.8)	126 (22.0)	152 (26.6)	61 (10.7)	26 (4.5)	23 (4.0)	60 (10.5)	21 (3.7)	25 (4.4)				

IV - 8. 介護保険

・問8-1：介護保険の利用の有無一性別

	総計	利用している	利用していない	無回答
総数	1035 (100)	265 (25.6)	678 (65.5)	92 (8.9)
性別				
男性	569 (100)	128 (22.5)	398 (69.9)	43 (7.6)
女性	434 (100)	128 (29.5)	267 (61.5)	39 (9.0)
無回答	32 (100)	9 (28.1)	13 (40.6)	10 (31.3)

・問8-2：介護保険の介護認定

	総計	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	無回答
総数	265 (100)	32 (12.1)	86 (32.5)	33 (12.5)	47 (17.7)	22 (8.3)	19 (7.2)	12 (4.5)	14 (5.3)
性別									
男性	128 (100)	15 (11.7)	38 (29.7)	16 (12.5)	26 (20.3)	8 (6.3)	12 (9.4)	2 (1.6)	11
女性	128 (100)	17 (13.3)	44 (34.4)	14 (10.9)	21 (16.4)	12 (9.4)	7 (5.5)	10 (7.8)	3
無回答	9 (100)	0 (0.0)	4 (44.4)	3 (33.3)	0 (0.0)	2 (22.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	0

・問8-3：介護保険の給付（サービス内容）に満足してるか。

	総計	満足	まあまあ満足	何ともいえない	やや不満	不満	無回答
総数	265 (100)	74 (27.9)	98 (37.0)	92 (34.7)	14 (5.3)	11 (4.2)	20 (7.5)

・問8-4：介護保険に不満の理由

	総計	手続きが大変	利用時間が短い (不十分)	サービス内容が充実していない	透析患者に対して使い勝手が悪い	その他
総数	78 (100)	27 (34.6)	14 (17.9)	19 (24.4)	20 (25.6)	10 (12.8)
						16 (20.5)

Ⅳ - 9. 災害対策について

- 問9-1：透析施設の災害対策

(複数回答)		人 (%)
総数		1035 (100)
避難訓練を行っている		178 (17.2)
患者用マニュアルが配布されている		339 (32.8)
災害対策の講演会を行っている		42 (4.1)
災害対策に関する資料が配布されている		226 (21.8)
なにも対策は行われていない		101 (9.8)
わからない		199 (19.2)
災害伝言ダイヤル		314 (30.3)
その他		28 (2.7)
無回答		98 (9.5)

- 問9-2：災害時における水分・カリウム・カロリーの摂取値を知っているか

人 (%)	
総数	1035 (100)
知っている	363 (35.1)
知らない	589 (56.9)
無回答	83 (8.0)

- 問9-3：災害時の代替透析施設の把握

人 (%)	
総数	1035 (100)
把握している	152 (14.7)
把握していない	641 (61.9)
わからない	170 (16.4)
無回答	72 (7.0)

- 問9-4：日常の災害の備え

人 (%)	
総数	1035 (100)
日頃から備えている	479 (46.3)
何もしていない	462 (44.6)
無回答	94 (9.1)

- 問9-5：災害に備えていること
(複数回答)

人 (%)	
総数	479 (100)
水や食料の備蓄	431 (90.0)
常備薬の備蓄	322 (67.2)
避難生活用品の備蓄	180 (37.6)
災害手帳の携帯	215 (44.9)
家具の転倒防止	180 (37.6)
その他	11 (2.3)
無回答	4 (0.8)

Ⅳ -10. 東 腎 協について

- ・問10-1：期待していること

(複数回答)	人 (%)
総数	1035 (100)
医療助成制度・福祉制度の継続	707 (68.3)
透析患者の生活質の向上	321 (31.0)
透析医療・福祉関連情報	436 (42.1)
会員交流 (学習・親睦・経験交流)	139 (13.4)
その他	17 (1.6)
特にない	94 (9.1)
無回答	244 (23.6)

- ・問10-2：開催してもらいたい
趣味の会

(複数回答)	人 (%)
総数	1035 (100)
歩こう会	101 (9.8)
カラオケ	48 (4.6)
俳句	14 (1.4)
書道	12 (1.2)
絵画 (絵手紙)	22 (2.1)
料理	66 (6.4)
旅行	127 (12.3)
その他	32 (3.1)
特にない	636 (61.4)
無回答	174 (16.8)

- ・問10-3：機関誌「とうじんきょう」
に期待する記事

(複数回答)	人 (%)
総数	1035 (100)
特集 (医療・福祉、災害など)	619 (59.8)
活動のまど	102 (9.9)
エッセイ (経験談など)	220 (21.3)
なかまのたより	153 (14.8)
クッキング	142 (13.7)
その他	22 (2.1)
特にない	190 (18.4)
無回答	180 (17.4)

Ⅳ -11. 全 腎 協について

- ・問11-1：期待していること

(複数回答)	人 (%)
総数	1035 (100)
CKD対策	259 (25.0)
通院	197 (19.0)
介護	276 (26.7)
災害対策	425 (41.1)
臓器移植	104 (10.0)
再生医療	330 (31.9)
その他	19 (1.8)
特にない	140 (13.5)
無回答	126 (12.2)

- ・問11-2：機関誌「ぜんじんきょう」
に期待する記事

(複数回答)	人 (%)
総数	1035 (100)
医療に関する情報	709 (68.5)
福祉に関する情報	378 (36.5)
災害対策に関する情報	441 (42.6)
読者のページ	107 (10.3)
活動レポート	105 (10.1)
はあとウォッチング	25 (2.4)
その他	14 (1.4)
特にない	121 (11.7)
無回答	96 (9.3)

令和4年6月

特定非営利活動法人 東京腎臓病協議会
正会員（病院患者会）会長・会員 各位

特定非営利活動法人 東京腎臓病協議会
会長 戸倉 振一

会員実態調査ご協力のお願い（ご依頼）

拝啓 日頃は東腎協の活動にご理解とご協力を賜り御礼申し上げます。

さて、東腎協は本年結成 50 周年を迎えました。結成以来昭和 49 年、昭和 56 年、平成 4 年、平成 16 年、平成 24 年と、これまでに 5 回の会員実態調査を実施しました。これら継続した調査から得られた貴重な資料は、現在の高齢化が進んだ透析患者の課題が集約されており、生活環境、治療、通院手段、災害等々で得た全ての課題は、都庁予算要請、都議会各党交渉など東腎協の活動に重要な役割を果たしてまいりました。前回の調査から 10 年が過ぎ私たちを取り巻く状況は刻々と変化してきました。特に本年は東腎協結成 50 周年を迎え、この節目の年に、全会員を対象とした実態調査を実施させていただくことになりました。

今回の調査は、こうした状況を把握し、東腎協の活動並びに腎不全医療の改善、貢献、研究のために行うものです。皆様の真摯なご回答が「非常に重要な意義を持っております。」この結果をもとに報告書を作成し、今後の東腎協活動の礎としたいと考えております。

本調査は無記名での回答であり、調査結果は統計処理されますので、個人が特定されることはありません。本調査の全課程を通じていつでも自由に調査への同意を取り消すことができ、調査への協力を強要するものではありません。

以上の趣旨をご理解いただき、本調査へのご協力をよろしくお願い申し上げます。

敬具

調査票記入の方法

1. この実態調査は令和4年6月現在の状況についてお答えください。
2. 各質問、全ての項目を読んでからお答えください。
3. 回答は、あてはまる番号に○をつけるか、（ ）に具体的に記入してください。
4. ご本人が記入できない場合は、ご家族や患者会の役員に代筆をお願いしてください。
5. 記入が終わりましたら、この調査票を封筒に入れ、患者会役員にお渡しく下さい。
6. この調査票のご不明な点やご質問について
東腎協事務局（03-3944-4048）までお問い合わせください。

*** 7月20日（水）までに返却いただきたくお願い申し上げます。**

令和 4 年 6 月

個人会員 各位

特定非営利活動法人 東京腎臓病協議会
会長 戸倉 振一

会員実態調査ご協力のお願い

日頃は東腎協の活動にご理解ご協力いただき感謝しております。

東腎協は昭和 49 年、昭和 56 年、平成 4 年、平成 16 年、平成 24 年と、これまでに 5 回の会員実態調査を行いました。こうした調査から得られた貴重な資料は、現在の高齢化の進んだ透析患者の課題が集約されており、生活環境、治療、通院手段、災害等々、全ての問題が都庁予算要請、都議会各党交渉などの東腎協の活動に大いに役立ってきました。前回の調査から 10 年が過ぎ、私たちをめぐる状況は様々に変化してきました。また、本年は東腎協結成 50 周年を迎えますので、この節目の年に、全会員を対象とした実態調査を実施させていただくことになりました。

今回の調査は、こうした状況を把握し、東腎協の活動並びに腎不全医療の改善、貢献、研究のために行うものです。皆様の真摯なご回答が「非常に重要な意義を持っております。」この結果をもとに報告書を作成し、今後の東腎協活動の礎としたいと思います。

本調査は無記名の回答であり、調査結果は統計処理されますので、個人が特定されることはありません。本調査の全課程を通じていつでも自由に調査への同意を取り消すことができ、調査への協力を強要するものではありません。

以上の趣旨をご理解いただき、本調査へのご協力をお願い申し上げます。

調査票記入の方法

1. この実態調査は令和 4 年 6 月現在の状況についてお答えください。
2. 各質問、全ての項目を読んでからお答えください。
3. 回答は、あてはまる番号に○をつけるか、() に具体的に記入してください。
4. ご本人が記入できない場合は、ご家族や患者会の役員に代筆をお願いしてください。
5. 記入が終わりましたら、この調査票を封筒に入れ、お手数ですが事務局まで郵送お願いします。
6. この調査票についてご不明の点は、東腎協事務局（03-3944-4048）にお問い合わせください。

*** 7 月 20 日（水）までに返却をお願いします。**

東腎協設立 50 周年実態調査

I、あなたについてお聞きします。

問 1-1、性別をお答えください。

- 1、男性 2、女性

問 1-2、年齢をお答えください。

- 1、10 歳未満 2、10 歳代 3、20 歳代 4、30 歳代 5、40 歳代
6、50 歳代 7、60 歳代 8、70 歳代 9、80 歳代 10、90 歳以上

問 1-3、住まいの区市町村をお答えください。

- 1、千代田区 2、中央区 3、港区 4、新宿区 5、文京区 6、台東区
7、墨田区 8、江東区 9、品川区 10、目黒区 11、大田区 12、世田谷区
13、渋谷区 14、中野区 15、杉並区 16、豊島区 17、北区 18、荒川区
19、板橋区 20、練馬区 21、足立区 22、葛飾区 23、江戸川区 24、八王子市
25、立川市 26、武蔵野市 27、三鷹市 28、青梅市 29、府中市 30、昭島市
31、調布市 32、町田市 33、小金井市 34、小平市 35、日野市 36、東村山市
37、国分寺市 38、国立市 39、西東京市 40、福生市 41、狛江市 42、東大和市
43、東久留米市 44、清瀬市 45、武蔵村山市 46、多摩市 47、あきる野市 48、稲城市
49、羽村市 50、西多摩郡 51、島しょ 52、神奈川県 53、埼玉県 54、千葉県
55、その他の県（ ）

問 1-4、通院している透析施設は住まいと同じ区市町村ですか。

- 1、同じ 2、同じではない

問 1-5、現在の治療法をお答えください。

- 1、施設での血液透析 2、在宅血液透析 3、腹膜透析 4、腎臓移植 5、慢性腎臓病治療中 6、治療していない

1～4 を選んだ方は問 1-6 にお進みください。
5～6 を選んだ方は問 10-1 にお進みください。

問 1-6、これまで経験された治療を選択して、その治療歴をお書きください。（複数回答可）

- 1、血液透析歴（ ）年
2、腹膜透析歴（ ）年
3、移植歴（ ）年

問 1-7、透析導入年齢をお答えください。

- 1、20 歳未満 2、20 歳代 3、30 歳代 4、40 歳代 5、50 歳代
6、60 歳代 7、70 歳代 8、80 歳代 9、90 歳以上

問 1-8、慢性腎臓病と診断されたのはどこですか。

- 1、自覚症状があり、病院で 2、健康診断の結果により、病院で 3、別の病気の治療中に 4、その他（ ）

問 1-9、透析に至った原疾患をお答えください。

- 1、糖尿病性腎症 2、慢性糸球体腎炎 3、腎硬化症 4、多発性腎嚢胞 5、その他（ ） 6、不明

問 1-10、慢性腎臓病と診断されてから透析導入まで何年でしたか。

- 1、1 年未満 2、5 年未満 3、10 年未満 4、20 年未満 5、20 年以上

問 1-11、現在、どのような症状でお悩みでしょうか。（複数回答可）

- 1、のどの渇き 2、疲れ、だるさ 3、かゆみ、むずむず感 4、頭痛 5、胃の痛み
6、こむら返り、足がつる 7、胸のむかつき、吐き気 8、便秘 9、下痢 10、不安や心配な気持
11、食欲がない 12、動機、息切れ 13、関節の痛み 14、腰痛 15、手足の痛み 16、肩の痛み
17、筋肉に力が入らない、脱力感 18、手足のしびれ 19、めまい、立ちくらみ 20、血圧の低下がある
21、その他（ ） 22、特に症状なし

問 1-12、人生の最終段階に自身の意思が伝えられなくなったときを想定して、対処方針の事前指示書を作成していますか。

- 1、作成している 2、作成していない 3、そのようなことは考えたくない 4、わからない

Ⅱ、あなたの通院状況について

問 2-1、自宅から透析施設までの通院時間をお答えください。

- 1、30 分未満 2、30 分以上 1 時間未満 3、1 時間以上 2 時間未満 4、2 時間以上

問 2-2、自宅から透析施設までの主な通院手段をお答えください。

- 1、徒歩 2、自転車 3、電車・地下鉄・バス等の公共交通機関 4、自家用車
5、オートバイ 6、タクシー 7、家族による送迎 8、透析施設の送迎車
9、ボランティア団体等の送迎車 10、介護保険を利用した通院 11、その他（ ）

8 を選んだ方は問 2-3 にお進みください。
8 以外を選んだ方は問 2-5 にお進みください。

問 2-3、透析施設の送迎車をご利用の方、通院のための費用は 1 ヶ月約いくら位かかりますか。

- 1、かからない 2、500 円以内 3、1,000 円以内 4、1,001 円以上

1 を選んだ方は問 2-4 にお進みください。
1 以外を選んだ方は問 2-6 にお進みください。

問 2-4、透析施設の送迎車を無料でご利用の方、もし送迎が有料になった場合、1 ヶ月いくら位まで負担できますか。

- 1、1,000 円以内 2、5,000 円以内 3、10,000 円以内 4、10,000 円以上

問 2-6 にお進みください。

問 2-5、透析施設の送迎車を利用しない方、通院のための費用は 1 ヶ月約いくら位かかりますか。

- 1、かからない 2、1,000 円以内 3、5,000 円以内 4、10,000 円以内 5、10,000 円以上

問 2-6、通院時の付き添いの有無と付き添いの方をお答えください。

- 1、一人通っている 2、配偶者（妻または夫） 3、子ども 4、その他の家族・親類 5、友達
6、介護保険のホームヘルパー 7、障害福祉のホームヘルパー 8、その他（ ）

Ⅲ、あなたの自己管理について

問 3-1、血液検査の結果表は透析施設から渡されていますか。

- 1、渡されている 2、渡されていない

問 3-2、平均的なヘモグロビン値（血色素量）(Hb)をお答えください。

- 1、10g/dl 未満 2、10 g/dl 以上～11g/dl 未満 3、11g/dl 以上 4、わからない

問 3-3、平均的なアルブミン値 (Alb)をお答えください。

- 1、3.5g/dl 以下 2、3.6g/dl 3、3.7g/dl 4、3.8g/dl 5、3.9g/dl 6、4.0g/dl 以上 7、わからない

問 3-4、食事管理で主に気をつけているのは何ですか。（複数回答可）

- 1、リン制限 2、カリウム制限 3、塩分制限 4、水分制限 5、カロリーの適切な摂取
6、タンパク質の適切な摂取 7、特に気をつけていない 8、その他（ ）

問 3-5、ふだん運動をしていますか。（複数回答可）

- 1、していない 2、散歩をしている（約 歩） 3、ストレッチ 4、筋力トレーニング
5、ラジオ体操 6、その他（ ）

問 3-6、薬を何種類飲んでいますか

- 1、飲んでいない 2、1～3 種類 3、4～6 種類 4、7～9 種類 5、10 種類以上

問 3-7、透析以外の治療を受けていますか。（複数回答可）

- 1、受けていない 2、循環器科 3、整形外科 4、心療内科・精神科 5、腫瘍内科・外科 6、皮膚科
7、眼科 8、その他（ ）

Ⅳ、あなたの透析治療についてお聞きします

問 4-1、透析時間帯をお答えください。

- 1、午前開始 2、午後開始 3、夜間（17 時以降開始又は、21 時以降終了） 4、深夜（オーバーナイト）

問 4-2、透析時間をお答えください。

- 1、3 時間以下 2、3 時間 30 分 3、4 時間 4、4 時間 30 分 5、5 時間 6、6 時間以上

問 4-3、透析中、何をしてお過ごししていますか。（複数回答可）

- 1、テレビを見ている 2、ラジオを聴いている 3、パソコンやスマホ使っている 4、読書
5、寝ている 6、特に何もしていない 7、運動をしている（エアロバイク、運動用具・器具、ストレッチ）
8、その他（ ）

V、あなたが腎移植に対して考えていることをお聞きします。

問 5-1、腎移植を希望しますか。

- 1、希望する 2、希望しない 3、わからない

問 5-2、腎移植の希望をしていないとお答えの方、その理由は何ですか。(複数回答可)

- 1、現在の透析療法に満足しているから 2、献腎移植の場合は時間がかかるから 3、移植への不安
4、年齢的体力的に無理 5、費用が心配 6、その他 ()

問 5-3、腎臓の再生医療に期待していますか。

- 1、期待している 2、期待していない 3、わからない

VI、あなたの仕事等について

問 6-1、現在、仕事をしていますか。

- 1、している → 問 6-2～問 6-7 にお答えください。
2、していない → 問 6-8 にお進みください。

問 6-2、現在の就労形態をお答えください。

- 1、正社員 2、非正規社員 3、会社・団体等の役員・経営者 4、公務員 5、自営 6、その他 ()

問 6-3、障害を持った後の職場は障害を持つ前と同じですか。障害を持った後に仕事に就いた方、就職をするときに支援を受けたところは
何処ですか。

- 1、障害を持つ前と同じ職場で就労 2、ハローワーク 3、障害者就労支援センター 4、障害者派遣企業
5、その他 ()

問 6-4、一週間で何日働いていますか。

- 1、1 日 2、2 日 3、3 日 4、4 日 5、5 日以上 6、不定期

問 6-5、職場での透析への理解度をお答えください。

- 1、理解している 2、どちらかと言えば理解している 3、どちらともいえない 4、あまり理解していない
5、全然理解していない 6、職場に話していない

問 6-7、就労上困ったことが起きたら、誰に相談しますか。(複数回答可)

- 1、職場の上司 2、職場の同僚 3、家族・友人 4、医師・看護師・技士
5、ケアマネジャー/ケースワーカー 6、患者会 7、その他 ()

問 7-1 にお進みください。

問 6-8、仕事をしない方、その理由をお答えください。(複数回答可)

- 1、高齢のため 2、体調が良くない 3、仕事を探しているが見つからない 4、働く必要がない

5、家事専業（子育て、介護など）

6、就学中

7、その他（ ）

VII、あなたの生活についてお聞きします

問 7-1、現在、公的年金を受けていますか。

1、公的年金を受けている

2、公的年金を受けていない

問 7-2、同居家族をお答えください。（複数回答可）

1、一人暮らし

2、配偶者

3、子ども

4、子どもの家族

5、孫

6、孫の家族

7、親

8、祖父母

9、兄弟・姉妹

10、その他の親族

11、その他（ ）

問 7-3、家庭の生計の中心者はどなたですか。

1、ご自身

2、配偶者

3、子、または子の配偶者

4、親

5、兄弟・姉妹

6、その他（ ）

問 7-4、あなたの年収をお答えください。

1、100 万円未満

2、100 万円以上～200 万円未満

3、200 万円以上～300 万円未満

4、300 万円以上～400 万円未満

5、400 万円以上～500 万円未満

6、500 万円以上～600 万円未満

7、600 万円以上

8、生活保護受給

9、収入なし

VIII、介護保険について伺います

問 8-1、あなたは介護保険制度を利用していますか。

1、利用している → 問 8-2 にお進みください。

2、利用していない → 問 9-1 にお進みください。

問 8-2、あなたの介護認定はどのようなものですか。

1、要支援 1

2、要支援 2

3、要介護 1

4、要介護 2

5、要介護 3

6、要介護 4

7、要介護 5

問 8-3、あなたは現在の介護保険の給付（サービス内容）に満足していますか。

1、満足

2、まあまあ満足

3、何ともいえない

4、やや不満

5、不満

問 8-4、現在の介護保険にやや不満又は、不満とお答えの方、その理由をお答えください。（複数回答可）

1、手続きが大変

2、利用時間が短い（不十分）

3、サービス内容が充実していない

4、透析患者に対する配慮が不足している

5、使い勝手が悪い

6、その他（ ）

IX、災害

問 9-1、あなたの通院している透析施設の災害対策についてお答えください。（複数回答可）

1、避難訓練を行っている

2、患者用マニュアルが配布されている

3、災害対策の講演会を行っている

4、災害対策に関する資料が配布されている

5、なにも対策は行われていない

6、わからない

7、災害伝言ダイヤル

8、その他（ ）

問 9-2、あなたは災害時における水分・カリウム・カロリーの摂取値をご存じですか。

- 1、知っている 2、知らない

問 9-3、あなたは災害時にかかりつけの透析施設で透析ができない場合の代替透析施設を把握していますか。

- 1、把握している 2、把握していない 3、わからない

問 9-4、あなたは日常から災害に備えて何かやっていますか。

- 1、日頃から災害に備えている。 → 問 9-5 にお進みください。
2、何もしていない。 → 問 10-1 にお進みください。

問 9-5、災害に備えていることは何ですか。(複数回答可)

- 1、水や食料の備蓄 2、常備薬の備蓄 3、避難生活用品の備蓄 4、災害手帳の携帯 5、家具の転倒防止
6、その他 ()

X、東腎協について

問 10-1、東腎協の活動に、なにを期待していますか。(複数回答可)

- 1、医療助成制度・福祉制度の継続 2、透析患者の生活質の向上
3、透析医療・福祉関連情報 4、会員交流(学習・親睦・経験交流) 5、その他 ()
6、特にない

問 10-2、今後、東腎協に開催してもらいたい趣味の会はありますか。(複数回答可)

- 1、歩こう会 2、カラオケ 3、俳句 4、書道 5、絵画(絵手紙) 6、料理
7、旅行 8、その他 () 9、特にない

問 10-3、機関誌「とうじんきょう」に期待する記事はなんですか。(複数回答可)

- 1、特集(医療・福祉・災害など) 2、活動のまど 3、エッセイ(経験談など) 4、なかまのたより
5、クッキング 6、その他 () 7、特にない

XI、全腎協について

問 11-1、全腎協の国会請願のどの項目に期待していますか。(複数回答可)

- 1、CKD 対策 2、通院 3、介護 4、災害対策 5、臓器移植 6、再生医療
7、その他 () 8、特にない

問 11-2、機関誌「ぜんじんきょう」に期待する記事はなんですか。(複数回答可)

- 1、医療に関する情報 2、福祉に関する情報 3、災害対策に関する情報 4、読者のページ
5、活動レポート 6、はあとウォッチング 7、その他 () 8、特にない

*ご協力有り難う御座いました。

東腎協50周年記念会員実態調査委員会

委員長 戸倉 振一

委員 古暮 宏 | 横溝久美子 | 大友 晴雄 | 岡田 和友
小林 正和 | 成田 哲也 | 野口 忠男 | 松本 茂利
丸山 春良 | 金子 智 | 松山 英央

NPO東腎協 結成50周年記念 会員実態調査報告書

特定非営利活動法人 東京腎臓病協議会（NPO東腎協）

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-40-11 富士大塚ビル2F

TEL03-3944-4048 FAX03-5940-9556

発行日 2023 年 3 月 14 日

特定非営利活動法人 東京腎臓病協議会（NPO東腎協）

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-40-11 富士大塚ビル2F
TEL03-3944-4048 FAX03-5940-9556